

工事番号												(様式-1)			
課長		係長		係長		係長		係員		係員		検算		担当	
工 事 名		令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)										設計書			
施 工 箇 所		安曇野市 堀金中学校										金抜き設計書			
設 計 概 要								施 工 方 法				請 負			
■令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期) ・北校舎1Fトイレの全面改修 ・1F生徒用男女トイレ:内装・設備機器及び設備配管全面改修 ・1F水飲み場、隣接廊下:内装及び設備機器の部分改修 設備配管全面改修 ・PS内配管の更新								施 工 期 間				日 間			
								契 約 年 月 日				令 和 年 月 日			
								竣 工 予 定 年 月 日				令 和 6 年 10 月 25 日			
								契 約 保 証 方 法				金 銭 的 保 証			
								・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。							

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)						
	総 括 表						
I	直接工事		1.00	式			
	直接工事費計						
II	共通費						
	共通仮設費 指定仮設		1.00	式			
	比率計上		1.00	式			
	純工事費						
III	現場管理費		1.00	式			
	工事原価						
IV	一般管理費		1.00	式			
	積算価格						
V	消費税						
	総合計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-a	建築工事 補助対象工事	科目内訳書					
A-a-1	直接仮設工事		1.0	式			
A-a-2	金属工事		1.0	式			
A-a-3	左官工事		1.0	式			
A-a-4	金属製建具工事	鋼製建具	1.0	式			
A-a-5	金属製建具工事	トイレブース	1.0	式			
A-a-6	木製建具工事		1.0	式			
A-a-7	ガラス工事		1.0	式			
A-a-8	鋼製建具枠撤去工事		1.0	式			
A-a-9	塗装工事		1.0	式			
A-a-10	内装工事		1.0	式			
A-a-11	雑工事		1.0	式			
	A-a. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-a-2	金属工事						
	LGS下地組 天井	既設吊りボルト再利用 19形	38.8	m ²			
	LGS下地組 内壁 W25		10.0	m ²			
	LGS下地組 内壁 W50		23.0	m ²			
	LGS下地組 内壁 W50開口部塞ぎ		9.5	m ²			
	LGS下地組 内壁 ライニングW100		5.6	m ²			
	天井点検口	1階天井共 □450 アルミ目地タイプ	8.0	ヶ所			
	男子便所ライニング天板	SUS W120 片面小口カバー共	4.5	m			
	法定福利費		1.0	式			
	A-a-2. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-a-3	左官工事						
	床 モルタル金鏝 t=50	下地処理共	34.2	m ²			
	床 既存和便器撤去跡補修	鉄筋補強共	5.0	ヶ所			
	床 既存洋便器撤去跡補修		1.0	ヶ所			
	巾木巻上部分タイル研り跡補修		22.4	m			
	既存内壁上部薄塗補修	壁不燃化粧板直張り用下地	7.3	m ²			
	既存タイル剥離部研り補修		2.4	m ²			
	壁下地調整 薄塗り補修	躯体孕み凹み調整 塗厚3~10mm程度	90.1	m ²			
	A-a-3. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-a-9	塗装工事						
	床防塵塗装 土間コン	下地処理共	4.5	m ²			
	天井 EP	新設ケル面 下地処理共	34.2	m ²			
	建具本体 木部 OSCL		5.3	m ²			
	法定福利費		1.0	式			
	A-a-9. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-a-10	内装工事						
	天井ケイカル板 t=6.0		34.2	m ²			
	天井化粧石膏ボード t=9.5		4.5	m ²			
	天井廻り縁 フレ ^ク		48.8	m			
	壁不燃化粧板 t=3.0	ジョイナー工法	90.1	m ²			
	壁耐水石膏ボード t=9.5		42.5	m ²			
	床長尺塩ビシート t=2.5		34.2	m ²			
	ワト巾木	H100	38.2	m			
	トイレ出入口床マット	900*600程度	2.0	ヶ所			
	法定福利費		1.0	式			
	小便器用汚垂れ石	セラミック内装床陶板	1.9	m ²			
	A-a-10. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-b-1	直接仮設工事						
	北校舎						
	墨出し	仕上	6.3	m ²			
	養生費	躯体仕上	33.5	m ²			
	清掃片付け		33.5	m ²			
	引き渡し前清掃		6.3	m ²			
	内部仕上用足場	脚立足場 2ヶ月	6.3	m ²			
	内部足場 階段室用	安全手摺、メッシュシート共 ステージ足場1.8×1.2×4.4m	1.0	基			
	内部足場 場内小運搬		2.0	回			
	法定福利費		1.0	式			
	搬入路床養生		309.3	m ²			
	A-b-1. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-b-4	塗装工事						
	内壁 SOP 壁面		10.4	m ²			
	内壁 SOP 扉面		2.6	m ²			
	天井 EP	新設ケル面 下地処理共	6.3	m ²			
	窓枠 SOP	水飲み場	9.2	m			
	建具枠 木部 着色ケル	水飲み場廊下側	8.0	m			
	巾木 SOP		6.3	m			
	法定福利費		1.0	式			
	A-b-4. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B-a	解体工事 補助対象工事						
B-a-1	建物解体処分						
	天井材 LGS下地共	撤去	38.8	m ²			
	同上	積込	38.8	m ²			
	同上	運搬	38.8	m ²			
	同上	処分	38.8	m ²			
	既存カーペット	撤去	4.5	m ²			
	同上	積込	4.5	m ²			
	同上	運搬	4.5	m ²			
	同上	処分	4.5	m ²			
	巾木部分タイル	アスベスト含有 研り、撤去	22.4	m			
	同上	積込	22.4	m			
	同上	運搬	22.4	m			
	同上	処分	22.4	m			

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ガラス間仕切解体撤去	撤去	4.7	m ²			
	同上	積込	4.7	m ²			
	同上	運搬	4.7	m ²			
	同上	処分	4.7	m ²			
	建具枠 アルミ	撤去 建築工事計上					
	同上	積込	2.0	ヶ所			
	同上	運搬	2.0	ヶ所			
	同上	処分	2.0	ヶ所			
	便所建具ドア	撤去 建築工事計上					
	同上	積込	2.0	本			
	同上	運搬	2.0	本			
	同上	処分	2.0	本			
	トイレブース 生徒男子便所	撤去	10.7	m ²			
	同上	積込	10.7	m ²			
	同上	運搬	10.7	m ²			
	同上	処分	10.7	m ²			

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	トイレブース 生徒女子便所	撤去	16.4	m ²			
	同上	積込	16.4	m ²			
	同上	運搬	16.4	m ²			
	同上	処分	16.4	m ²			
	B-a-1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B-a-2	機器類解体処分	撤去、運搬、処分費含む					
	和便器	研り（撤去 機械設備工事計上）	5.0	ヶ所			
	同上	積込	5.0	ヶ所			
	同上	運搬	5.0	ヶ所			
	同上	処分	5.0	ヶ所			
	腰掛け便器	研り（撤去 機械設備工事計上）	1.0	ヶ所			
	同上	積込	1.0	ヶ所			
	同上	運搬	1.0	ヶ所			
	同上	処分	1.0	ヶ所			
	小便器	アスベスト含有 研り（撤去 機械設備工事計上）	4.0	ヶ所			
	同上	積込	4.0	ヶ所			
	同上	運搬	4.0	ヶ所			
	同上	処分	4.0	ヶ所			

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	手洗い流し SUS 生徒男子、女子便所	撤去 機械設備工事計上					
	同上	積込	2.0	ヶ所			
	同上	運搬	2.0	ヶ所			
	同上	処分	2.0	ヶ所			
	掃除用流し SUS 生徒男子、女子便所	撤去 機械設備工事計上					
	同上	積込	2.0	ヶ所			
	同上	運搬	2.0	ヶ所			
	同上	処分	2.0	ヶ所			
	B-a-2. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B-a-3	管材その他処分	撤去は機械設備工事計上					
	衛生器具 機械明細001の単水栓	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給水管 機械明細004相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給水管保温材 機械明細005相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	排水管 機械明細008相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	排水管保温材 機械明細009相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	パネルヒーター	W900*H500コンセント式 積込	2.0	台			
	同上	運搬	2.0	台			
	同上	処分	2.0	台			
	換気扇	有圧換気扇□300型 積込	2.0	台			
	同上	運搬	2.0	台			
	同上	処分	2.0	台			
	照明器具	蛍光灯20W*1灯/逆富士型 積込	4.0	台			
	同上	運搬	4.0	台			
	同上	処分	4.0	台			
	B-a-3. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B-b	解体工事 Ⅲ期 補助対象外工事						
B-b-1	建物解体処分						
	天井材 LGS下地共	撤去	19.0	m ²			
	同上	積込	19.0	m ²			
	同上	運搬	19.0	m ²			
	同上	処分	19.0	m ²			
	床長尺塩ビシート剥ぎ	撤去	12.7	m ²			
	同上	積込	12.7	m ²			
	同上	運搬	12.7	m ²			
	同上	処分	12.7	m ²			
	内壁材ケイカル板撤去 下地GL工法	撤去	3.9	m ²			
	同上	積込	3.9	m ²			
	同上	運搬	3.9	m ²			
	同上	処分	3.9	m ²			

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ピット内集積混合廃棄物	撤去	1.5	m3			
	同上	積込	1.5	m3			
	同上	運搬	1.5	m3			
	同上	処分	1.5	m3			
	B-b-1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B-b-2	管材その他処分	撤去は機械設備工事計上					
	衛生器具 機械明細010相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給水管 機械明細013相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給水管保温材 機械明細014相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	排水管 機械明細017相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			

	名 称	規 格	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	排水管保温材 機械明細018相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	電気温水器 機械明細021相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給湯管 機械明細022相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給湯管保温材 機械明細023相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	B-b-2. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
C-a-1	北校舎1階便所						
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF 1.6mm-2C	55.0	m			
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF 1.6mm-3C	11.0	m			
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF 2.0mm-3CG	72.0	m			
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF 2.0mm-3CG 200V	2.0	m			
	アウトレットボックス	埋込四角中浅 102x102x 44 塗代付	6.0	個			
	熱線センサー付自動スイッチ	親機 8A	2.0	台			
	熱線センサー付自動スイッチ	子機 換気扇連動型	2.0	台			
	熱線センサー付自動スイッチ操作ユニット 新金-P	照明・換気扇用	2.0	台			
	埋込コンセント 新金-P	2P15Ax1	2.0	個			
	埋込コンセント 新金-P	2P15Ax2EET	6.0	個			
	カバープレート 新金		2.0	個			
	ノズルプレート 新金		2.0	個			
	1種金属線ぴ (MM1)	B型メタルモール	7.0	m			
	1種金属線ぴ (MM1) 用ボックス	ジャンクションボックス 4角	2.0	個			
	1種金属線ぴ用ボックス	角形1個用	7.0	個			

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	照明器具 A	LSS9-4-23LN 相等品	6.0	台			
	既設分電盤改修	100Vから200Vへ変更	2.0	回路			
	機器電源接続	パネルヒーター	2.0	台			
	既設分電盤改修 (ブレーカ増設)	2P20A ノーヒューズ遮断器	3.0	台			
	既設照明器具撤去	FL20Wx1	4.0	台			
	既設埋込スイッチ撤去	1P15Ax2+PL	2.0	個			
	既設埋込コンセント撤去	2P15Ax1	2.0	個			
	既設埋込コンセント撤去	接地2P20Ax1 100V(プラグ共)	2.0	個			
	産廃処分費	建築工事計上					
	C-a-1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
D-a-1	衛生器具設備						
	洋風便器	CFS494BMCK TCF5534 YH650	6.0	台			
	小便器	UFH500 TG600PL T9R	4.0	台			
	人造大理石カウンター(ホール一体型)	ML50C1940CPA13W L505 TLC11AR TLDS2105JTLC4BF MFT3C1934D=NB12W	1.0	台			
	人造大理石カウンター(ホール一体型)	ML45C1940CPA13W L350C TLC11AR TLDS2105JTLC4BF MFT3C1934D=NB12W	1.0	台			
	小便器用手摺り	T112CU22 T110D15	1.0	台			
	化粧鏡	YM4560A	4.0	台			
	手摺り	TS136GLY86	2.0	台			
	器具撤去	機械明細001	1.0	式			
	D-a-1.計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
D-a-2	給水設備工事						
	給水管	機械明細002	1.0	式			
	水抜栓 三方弁	陸上型 50A	1.0	個			
	電動駆動部	50A	1.0	個			
	吸気弁	15A	1.0	個			
	バクテリア弁	100A	1.0	個			
	ステンフレキ500L	100A	1.0	個			
	保温工事	機械明細003	1.0	式			
	コア抜き	100φ×300L	3.0	箇所			
	コア抜き	80φ×300L	1.0	箇所			
	コア抜き	50φ×300L	14.0	箇所			
	管撤去	機械明細004	1.0	式			
	保温撤去	機械明細005	1.0	式			
	既存管取り合い		2.4	人工			
	仮設水道工事	PPφ30 40m程度 資材 設置撤去6人工	1.0	式			
	受水槽排水・水張作業		2.0	人工			
	D-a-2. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
D-a-3	排水設備工事						
	排水管	機械明細006	1.0	式			
	通気管	機械明細007	1.0	式			
	床上掃除口	COA 80A	1.0	個			
	床上掃除口	COA 100A	3.0	個			
	床上掃除口	COA 125A	1.0	個			
	管撤去	機械明細08	1.0	式			
	保温撤去	機械明細09	1.0	式			
	既存管取り合い		3.6	人工			
	コア抜き	80φ×300L	12.0	箇所			
	コア抜き	100φ×300L	14.0	箇所			
	コア抜き	125φ×300L	1.0	箇所			
	コア抜き	150φ×300L	17.0	箇所			
	コア抜き	200φ×300L	1.0	箇所			
	D-a-3一計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
D-b-2	給水設備工事						
	給水管	機械明細011	1	式			
	水抜栓 三方弁	25A	1.0	個			
	電動駆動部 20～25A		1.0	個			
	電動操作盤		1.0	個			
	既設盤、操作線取外し再取付	手間電工1.6人工	1.6	人工			
	吸気弁	15A	1.0	個			
	仕切弁 (コア入り)	20A 5k	1.0	個			
	仕切弁 (コア入り)	40A 5k	1.0	個			
	仕切弁 (コア入り)	50A 5k	1.0	個			
	ステンレキ500L	40A	1.0	個			
	ステンレキ500L	50A	1.0	個			
	保温	機械明細012	1.0	式			
	管撤去	機械明細013	1.0	式			
	保温撤去	機械明細014	1.0	式			
	既存管取り合い		1.8	人工			
	コア抜き	50φ×300L	10.0	箇所			
	D-b-2. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
D-b-3	排水設備工事						
	排水管	機械明細015	1.0	式			
	通気管	機械明細016	1.0	式			
	防虫網	40A	1.0	個			
	管撤去	機械明細017	1.0	式			
	保温撤去	機械明細018	1.0	式			
	既存管取り合い		2.4	人工			
	コア抜き	80φ×300L	3.0	箇所			
	コア抜き	100φ×300L	2.0	箇所			
	コア抜き	125φ×300L	2.0	箇所			
	コア抜き	150φ×300L	1.0	箇所			
	D-b-3. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
D-b-4	給湯設備工事						
	電気温水器	150L	1	台			
	給湯管	機械明細019	1.0	式			
	湯抜栓 二方弁	20A	1.0	個			
	電動駆動部 20～25A		1.0	個			
	電動操作盤（給湯用）		1.0	個			
	吸気弁	15A	1.0	個			
	仕切弁（コア入り）	20A	1.0	個			
	保温	機械明細020	1.0	式			
	電気温水器撤去	機械明細021	1.0	式			
	管撤去	機械明細022	1.0	式			
	保温撤去	機械明細023	1.0	式			
	コア抜き	50φ×300L	6.0	箇所			
	D-b-4. 計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	機械設備工事－機械明細						
機械明細 001	衛生器具撤去						
	洋風便器	フラッシュ弁	1.0	台			
	和風便器	フラッシュ弁	5.0	台			
	小便器		4.0	台			
	掃除流し		2.0	台			
	単水栓		8	個			
	合計						
機械明細 002	給水管						
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 20A	23.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 25A	12.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 32A	4.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 40A	4.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 50A	11.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 100A	27.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械明細 004	給水管撤去						
	鋼管	機械室・便所 20A	17.0	m			
	鋼管	機械室・便所 25A	18.0	m			
	鋼管	機械室・便所 32A	4.0	m			
	鋼管	機械室・便所 50A	14.0	m			
	鋼管	機械室・便所 100A	27.0	m			
	不凍栓	50A	1.0	個			
	駆動部		1.0	個			
	吸気弁	15A	1.0	個			
	バタフライ弁	100A	1.0	個			
	フレキ管	100A	1.0	個			
	合計						
機械明細 005	保温撤去						
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 20A	17.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 25A	18.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 32A	4.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 50A	14.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 100A	27.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械明細 006	排水管						
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 20V	1.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 50V	20.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 65V	2.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 75V	19.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 100V	28.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 125V	7.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・PS 75V	2.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・PS 100V	37.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 40A	1.0	m			
	仕切弁(コア入り)	40A 5K	1.0	個			
	合計						
機械明細 007	通気管						
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 50V	9.0	m			
	耐熱2層管 TVP	機械室・便所・PS 50V	20.0	m			
	耐熱2層管 TVP	機械室・便所・PS 65V	8.0	m			
	耐熱2層管 TVP	機械室・便所・PS 100V	21.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械明細 008	管撤去						
	塩ビ管	機械室・便所 20V	5.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 50V	9.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 65V	1.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 75V	14.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 100V	32.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 125V	12.0	m			
	鉛管	機械室・便所 50A	6.0	m			
	鉛管	機械室・便所 80A	4.0	m			
	床上掃除口	COA 80A	1.0	個			
	床上掃除口	COA 100A	1.0	個			
	床上掃除口	COA 125A	2.0	個			
	鋼管	機械室・便所 40A	1.0	m			
	仕切弁(コ入り)	40A 5K	1.0	個			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械明細 009	保温撤去						
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 20A	5.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 50A	11.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 65A	8.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 75A	2.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 100A	58.0	m			
	合計						
機械明細 010	衛生器具撤去						
	単水栓		8.0	個			
	混合水栓		1.0	個			
	合計						
機械明細 011	給水管						
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 20A	5.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 25A	9.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 32A	1.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 40A	19.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 50A	27.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械明細 012	保温						
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 20A	5.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 25A	9.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 32A	1.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 40A	19.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 50A	27.0	m			
	合計						
機械明細 013	管撤去						
	鋼管	屋内一般 20A	5.0	m			
	鋼管	屋内一般 25A	9.0	m			
	鋼管	屋内一般 32A	1.0	m			
	鋼管	屋内一般 40A	19.0	m			
	鋼管	屋内一般 50A	27.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械明細 014	保温撤去						
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 20A	5.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 25A	9.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 32A	1.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 40A	19.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 50A	27.0	m			
	合計						
機械明細 015	排水管						
	硬質塩化ビニル管 VP	屋内一般・ピット 20V	5.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	屋内一般・ピット 40V	1.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	屋内一般・ピット 50V	2.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	屋内一般・ピット 75V	9.0	m			
	耐熱2層管 TVP	屋内一般・PS 40V	9.0	m			
	耐熱2層管 TVP	屋内一般・PS 75V	11.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械明細	016 通気管						
	耐熱2層管 TVP	屋内一般・PS 50V	3.0	m			
	耐熱2層管 TVP	屋内一般・PS 75V	4.0	m			
	合計						
機械明細	017 管撤去						
	樹脂管	屋内一般 20V	5.0	m			
	樹脂管	屋内一般 40V	10.0	m			
	樹脂管	屋内一般 50V	5.0	m			
	樹脂管	屋内一般 75V	24.0	m			
	合計						
機械明細	018 保温撤去						
	グラスウール保温筒	屋内一般・PS 40V	9.0	m			
	グラスウール保温筒	屋内一般・PS 75V	11.0	m			
	グラスウール保温筒	屋内一般・PS 50V	3.0	m			
	グラスウール保温筒	屋内一般・PS 75V	4.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械明細	019 給湯管						
	耐熱塩ビライニング鋼管 HVA	屋内一般 20A	8.0	m			
	合計						
機械明細	020 保温						
	グラスウール保温筒 20mm	天井PS内 20A	8.0	m			
	合計						
機械明細	021 電気温水器撤去						
	電気温水器	150L	1.0	台			
	合計						
機械明細	022 管撤去						
	耐熱塩ビライニング鋼管	屋内一般 20A	2.0	m			
	合計						
機械明細	023 保温撤去						
	グラスウール保温筒	天井PS内 20A	2.0	m			
	合計						

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1 工事名称 令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)

2 工事場所 安曇野市 堀金中学校

3 工事概要

北校舎1階のトイレ施設の全面改修

- ・1F生徒用男女トイレ：内装・設備機器及び設備配管共全面改修
- ・1F水飲み場、隣接廊下：内装及び設備機器の部分改修 設備配管全面改修
- ・PS内配管の更新工事

4 工期期間等

(1) 契約工期 契約日 ～ 令和6年10月25日

(2) 水飲み場、廊下部分通行開始日 2学期開始時

(3) その他

※学校側と十分工程打合せをして下記事項を踏まえ工事時期を計画すること。

- ・工事は、令和6年7月13日(土)から令和6年8月21日(水)を中心に行うこと。

【夏休みの期間は、令和6年7月20日(土)から令和6年8月21日(水)】

- ・上記期間で工事が完了しない場合は、8月22日(木)から契約工期内で学校の運営に支障のない時間での工事とすること。

5 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書(案)及び現場説明書(以下「設計図書等」という。))によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関する面談又は電話(ただし、指定の問い合わせ先は除く。)等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

6 本工事における特記事項

ア 中学校の夏休み期間を中心に現場の施工を行うこと。夏休み期間でも含め施設を運営しながらの施工となるため、施工期間及び作業時間の調整を行い施工すること。

イ 水飲み場、廊下部分の施工は1学期終了後に施工を開始し、2学期開始日までに科

学物質濃度測定を終え、基準値以下であることを確認したうえで通行できるようにすること。(水飲み場の使用は後日で可、安全を確保し学校関係者が通行できればよい。)

ウ 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は施設管理者と打合せを行い、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうち施工すること。

エ 学校運営への配慮事項

- ① 学校行事(準備片付も含む)の予定があるため、打合せの上、騒音等に配慮し学校運営に支障がないよう努めること。
- ② 現場引き渡しにあたり、現場引き渡し検査の前に化学物質の濃度測定を行い、結果を報告すること。
- ③ 児童・保護者及び職員の移動動線には十分注意すること。搬入路、仮設足場等は事前に、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。

オ 本工事は、「週休2日工事実施要領」発注者指定型週休2日工事の対象である。なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。(工事発注時は4週8休を想定した設計単価で積算している)

7 その他

ア 火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、耐火建築物にあつては基礎工事完了時から完成期日後14日まで、木造等非耐火建築物にあつては請負契約後から完成期日後14日まで、設備工事にあつては機械類搬入時から完成期日後14日までとする。

イ 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。
加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときには、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て

等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について

- (1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。
- (2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。
- (3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報

告を行う。工事発注前に市で実施したアスベスト調査資料については、受注者へ資料提供を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

(1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

令和5年度（明許繰越）

堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事（Ⅲ期）

令和6年3月

令和5年度（明許繰越）堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事（Ⅲ期）

（建築工事）

図面リスト

	図面番号	図面名	SCALE			図面番号	図面名	SCALE			図面番号	図面名	SCALE									
			A 1	A 3				A 1	A 3				A 1	A 3								
建築主体工事 (意匠図)	A - 00	表紙	Non	Non	建築主体工事 (意匠図)					電気設備工事	E - 01	電気設備工事特記仕様書	Non	Non	機械設備工事	M - 01	機械設備工事特記仕様書	Non	Non			
	A - 01	図面リスト	Non	Non							E - 02	電灯・コンセント設備図	1/50	1/100		M - 02	機器器具表	Non	Non			
	A - 02	工事区分表	Non	Non												M - 03	給排水系統図 改修	Non	Non			
	A - 03	特記仕様書(1)	Non	Non												M - 04	1階給排水平面図 改修	1/200	1/400			
	A - 04	特記仕様書(2)	Non	Non												M - 05	2階給排水平面図 改修	1/200	1/400			
	A - 05	特記仕様書(3)	Non	Non												M - 06	3階給排水平面図 改修	1/200	1/400			
	A - 06	特記仕様書(4)	Non	Non												M - 07	給排水設備平面図 改修	1/50	1/100			
	A - 07	解体工事特記仕様書	Non	Non												M - 08	暖房・換気設備平面図 改修	1/50	1/100			
	A - 08	工事概要・求積図・仕上表	1/100	1/200												M - 09	外部・1階給排水配管図 既設	1/200	1/400			
	A - 09	案内図・全体配置図・配置図	Non	Non												M - 10	2階給排水配管図 既設	1/200	1/400			
	A - 10	全体平面図・仮設計画図 1階	1/200	1/400												M - 11	3階給排水配管図 既設	1/200	1/400			
	A - 11	全体平面図・仮設計画図 2階	1/200	1/400												M - 12	給排水設備平面図 現況	1/50	1/100			
	A - 12	全体平面図・仮設計画図 3階	1/200	1/400												M - 13	暖房・換気設備平面図 現況	1/50	1/100			
	A - 13	平面詳細図 現況 改修	1/50	1/100																		
	A - 14	立面図・断面詳細図 改修	図示	図示																		
	A - 15	天井伏図 現況 改修	1/50	1/100																		
	A - 16	展開図(1) 現況	1/50	1/100																		
	A - 17	展開図(1) 改修	1/50	1/100																		
	A - 18	建具表	1/50	1/100																		
	A - 19	トイレブース 平面図・断面詳細図	1/50	1/100																		
	A - 20	トイレブース 展開図	1/50	1/100																		
A - 21	部分詳細図	1/5	1/10																			
A - 22																						
A - 23																						
A - 24																						
A - 25																						
A - 26																						
A - 27																						
A - 28																						
A - 29																						
A - 30																						

工事区分表

項目		A	E	M	別	備考	項目		A	E	M	別	備考	項目		A	E	M	別	備考	項目		A	E	M	別	備考				
○ 躯体関係																															
1. RC造（梁・壁・床） の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け		○	○		特記なき限り 各工事分担による	1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び 下地の補強					特記なき限り 各工事分担による	○ 雨水	屋外雨水排水設備						○ 共通事項	工所用電力・上下水道・ガス引込工事	○	○	○						
	補強を要する型枠材及び取付け					特記なき限り 各工事分担による		補強を要しないボードの切り込み					特記なき限り 各工事分担による		樹及び柵ふた								工所用電力・上下水道・ガス引込工事 (引込負担金・基本料金含む)	○	○	○			使用工事別		
	補強を要しない型枠材及び取付け					特記なき限り 各工事分担による		開口部の墨出し					特記なき限り 各工事分担による		雨水立管（たてどい）								本接電力引込工事								
	貫通孔・開口部の墨出し		○	○		特記なき限り 各工事分担による	2. 既製間仕切り	切り込み及び補強						2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備				○			本接水道引込工事									
	貫通孔・開口部の補強		○	○		特記なき限り 各工事分担による		位置ボックス							樹及び柵ふた					○			本接下水道引込工事								
	スリーブ・型枠の穴埋め		○	○		特記なき限り 各工事分担による	3. 吊りボルト及び 設備機器の インサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用			○	○		3. 植栽	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ				○			本接ガス引込工事									
	埋込形盤類及び、箱類の型枠															化粧マンホール上ふたの表面仕上げ				○			本接受電後引渡しまでの電力基本料金						試運転含む		
2. S・SRC造	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強						4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ		○	○		4. ユニット形浄化槽 の躯体	ビツト形の躯体及び砂充填						本接後引渡しまでの水道基本料金								試運転含む			
	使用されたスリーブの穴埋め							ウェザーカバー、ベントキャップ			○	○			上記以外のユニット形浄化槽本体 ・配管及び据付等						本接後引渡しまでの電力・上下水・ガス ・灯油使用料金							関連工事別 試運転含む			
	予備スリーブの穴埋め							換気扇（取付枠共）			○	○			ビツト形以外						本接後引渡しまでの下水道基本料金								試運転含む		
	貫通孔・開口部のスミ出し																					本接電話引込工事							引込負担金は別途		
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの		○				5. キッチンまわり	流し台・吊り戸棚・水切り棚コンロ台					5. 屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充填						工事上の各種申請手続き及び費用	○	○	○					関連工事別			
	室内の基礎 (建築設計図に記入のないもの)			○	○			フード（標準詳細図のもの）							上記以外のオイルタンク本体 ・配管及び据付等						工事用仮設足場・仮囲い	○	○	○				足場共通利用			
	屋外・屋上の基礎 (建築設計図に記入のないもの)			○	○		レンジフード（標準詳細図のもの）							タンク室形以外																	
	軽微なもの			○	○			ユニットバス、シャワーユニット																							
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない						6. 浴室まわり	既製浴槽（ふたを含む）						6. その他	厨房グリーストラップ																
	機器取り付け用アンカー・架台			○	○			浴室及び便所の床排水金物																							
4. 昇降機関連	昇降路・機械室の躯体						7. 便所まわり	洗面カウンター				○	○ 電気配線配管	機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地線共)				○													
	機械室の床開口							鏡（規格寸法のみ）		○					機器付属の制御盤への電源供給配管配線					○		1次側									
	機械室の床配管ビツト・蓋						ユニット形衛生器具					○			自動制御と動力盤との電源供給の 渡り配管配線					○											
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上						便所用てすり					○			機器と付属操作スイッチの渡り配管配線					○											
	巻上機周囲のチェッカープレート敷						8. 居室まわり	ファンコイルカバー							煙感知器から連動制御盤を経て防煙 ダンパーに至る配管配線																
	昇降路内ビツト防水・集水桝 ・点検用タラップ							家具組み込みの洗面器								小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線															
	各階出入口穴あけ・同補強						9. フリーアクセス フロア	コンセント・電話・情報等							注油口内アース端子よりアース用配管配線																
	出入口扉・三方枠							床パネル切込み加工								個別「バック」の室内機、室外機の渡り配線															
	三方枠取付・枠廻り・埋戻し・同補修						10. その他	2重ビツト及びトレンチのマンホール蓋								アリアキア7の複合アトリック取付及び配線															
	昇降機がRCの時、軌条・中間ビーム ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式							機器搬入用フックビーム								電極棒					○										
	機械室天井フック取付						チェンブロック																								
	ホール押印・インジケータ・鋼索など の壁開口						化粧マンホール上ふたの表面仕上げ																								
	機械室換気設備						点検口（天井・壁・床下）					○																			
昇降路がS造の時の中層ビームブラケット 受けピース						排煙口等の天井仕上材の取付け																									
E V機械室からインターホンまでの 配線工事						自動閉鎖装置を取り付ける防火戸の切込 補強及びドアチェック、フロアセンジ																									
E V機械室からインターホンまでの 配管工事						消火器BOX設置工事																									
5. その他	トラフ・ビツト類（ふたを含む）						自動扉・電動シャッターへの電源供給																								
	湧水・汚水ビツト・RC造各種水槽						自動扉・電動シャッターから付属の スイッチ・センサーへの配管工事																								
	同上用防水・マンホール・タラップ式						一般用手すり																								
	避雷設備・同接地工事						防火戸の配管、配線、煙感知器、レリーズ																								
	ALC板の壁開口・補強						防火シャッターの配管、配線、煙感知器																								
	オイルサービスタンクの防油堤						ガス漏れ検知器																								
	厨房グリース阻集器						空気集熱パッシブソーラーシステム工事																								
	フリーアクセスフロア内の防水堤																														
プールサイド排水溝																															
厨房排水溝																															

8 コンクリートブロック・ALCパネル・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1. 建築用コンクリートブロック (表8.2)

2. ALCパネル (表8.4.3)

3. 押出成形セメント板 (ECP) (表8.5.2)

種類	単位重量 (N/m ²)	厚さ (mm)	取付け方 (種別)
外壁パネル	1180・1960	※100	・A・B・C
間仕切パネル	※100	・B・C・D・E	
屋根パネル	980	※100	
床パネル	2350・3530	※100・150	※F種 (標仕8.4.5による)

9 防水工事

1. アスファルト防水 (表9.2.3~9.2.8)

2. 改質アスファルトシート防水 (表9.3.1)

3. 合成高分子系膜防水 (表9.4.1)

4. 塗膜防水 (表9.5.1)

5. シーリング (表9.7.1)

種別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上り塗料塗り	使用分類
S-F1	※1.2		・シルバー	※非歩行
S-F2	※2.0		・カラー	・軽歩行
S-M1	※1.5			
S-M2	※1.5			
S-M3	※1.2			

10 石工事

1. 天然石張り (表10.2.1)

2. テラゾ張り (表10.2.2)

3. 壁の石張り工法 (表10.3.3)

4. 折板葺 (表13.2.3)

5. 3.と (表13.5.1)

11 タイル工事

1. 陶磁器質タイル (表11.2.1)

2. 張り付け用材料 (表11.2.3)

3. 壁タイル張りの工法 (表11.3.3)

4. 陶磁器質タイル型枠先付け工法 (表11.4.2)

12 木工事

1. 木材の品質 (表12.2.1)

2. 樹種 (表12.2.2)

3. 集材材 (表12.2.3)

4. 接着剤 (表12.3.1)

5. 防蟻・防蟻処理 (表12.3.1)

6. 防虫処理 (表12.3.1)

7. 床板張り (表12.6.1)

13 屋根及びとい工事

1. 長尺金属板葺き (表13.2.3)

2. 折板葺 (表13.2.3)

3. 3.と (表13.5.1)

14 金属工事

1. 鋼材の表面仕上げ (表14.2.1)

2. 7%以下及び7%未満合金の表面処理 (表14.2.2)

3. 鉄の亜鉛めっき (表14.2.3)

4. 軽量鉄骨天井下地 (表14.4.4)

5. 金属成形板張り (表14.6.2)

6. 7%以下鋼板 (表14.7.1)

7. 手すり及びタラップ (表14.8.3)

15 左官工事

1. モルタル塗り材料 (表15.2.2)

2. 床コンクリートの直均し仕上げ (表15.4.2)

3. 仕上塗材仕上げ (表15.6.1)

4. 珪藻土 (表15.6.1)

16 建具工事

1. 見本の製作等 (表16.1.4)

2. 防犯建物部品 (表16.1.6)

3. 7%以下鋼製建具 (表16.2.1)

4. 網戸 (表16.2.2)

5. 鋼製建具 (表16.3.1)

6. 鋼製軽量建具 (表16.3.2)

7. 7%以下鋼製建具 (表16.5.2)

8. 木製建具 (表16.5.1)

9. 建具用金物 (表16.8.3)

10. 自動ドア開閉装置 (表16.8.1~3)

11. 自閉式上吊り引戸装置 (表16.10.2)

12. 重量シャッター (表16.10.2)

13. 軽量シャッター (表16.11.1)

14. オートヘッドドア (表16.13.2)

安曇野市

令和5年度(明許繰越) 堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)

工事名 年月日

図面名称 特記仕様書(2) 図面番号 A-04

検印欄

16 器具工事
16.1 ガラス
16.2 ガラスブロック
16.3 ガラスの取付け
16.4 ガラスの取付け

17 カーテンウォール工事
17.1 カーテンウォール
17.2 カーテンウォール材料の種類
17.3 カーテンウォール材料の方式
17.4 カーテンウォール材料の仕様
17.5 カーテンウォール材料の取付け

18 塗装工事
18.1 塗料
18.2 塗料の種類
18.3 塗料の取付け
18.4 塗料の取付け

19 内装工事
19.1 接着剤
19.2 ビニル床シート張り
19.3 ビニル床タイル張り
19.4 帯電防止床張り
19.5 ビニル床タイル張り
19.6 帯電防止床張り

シーリング材料
(9.6.2)(17.3.2)(表9.6.1)
下記以外は標準9.6.1による

18 塗装工事
18.1 塗料
18.2 塗料の種類
18.3 塗料の取付け
18.4 塗料の取付け

19 内装工事
19.1 接着剤
19.2 ビニル床シート張り
19.3 ビニル床タイル張り
19.4 帯電防止床張り
19.5 ビニル床タイル張り
19.6 帯電防止床張り

7. 合成樹脂塗床
7.1 タフテッドカーベット
7.2 タイルカーベット

8. フローリング張り
8.1 フローリングの種類
8.2 フローリングの取付け

9. 畳敷き
9.1 畳の種類
9.2 畳の取付け

12. 吸音材
12.1 吸音材の種類
12.2 吸音材の取付け

14. 断熱材
14.1 断熱材の種類
14.2 断熱材の取付け

15. 浴室天井
15.1 浴室天井の種類
15.2 浴室天井の取付け

20 ユニット及びその他工事
20.1 フリーアクセスフロア
20.2 可動間仕切
20.3 移動式間仕切
20.4 トイレブース
20.5 階段滑止め
20.6 階段手すり
20.7 黒板及びホワイトボード
20.8 鏡
20.9 表示

安曇野市
令和5年度(明許繰越)
堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)
特記仕様書(3)
A-05

20 ユニット及びその他工事

10. 煙突ダクト

11. ブラインド

12. ロールスクリーン

13. カーテン

14. カーテンレール

15. ブラインドボックス及びカーテンボックス

16. 耐震スリット

17. 止水板

18. 天井点検口

19. 床点検口

20. 鋼製書架及び物品棚

21. 鍵箱

22. 靴ふきマット

23. 流し台ユニット

24. 屋内掲示板

25. 洗面カウンター

26. 防塵塵れ壁

27. 誘導用及び注意喚起用床材

28. 旗竿

29. 旗竿受金物

30. フェンス

21 排水工事

1. 排水管

2. 排水網及びふた

3. 浸透管及び浸透料

4. その他の材料

22 舗装工事

1. 盛土に用いる材料

2. 道断層及び凍上抑制層の材料

3. 路床安定処理

4. 路床土の支持力試験

5. 路床締固め度の試験

6. 砂の粒度試験

7. 路盤材料

8. 路盤の締固め度の試験

9. アスファルト舗装

10. コンクリート舗装

11. 透水性

12. 排水性

13. プラック舗装

23 植栽工事及び屋上緑化工事

1. 樹木の植栽基盤整備

2. 植込み用土

3. 土壌改良材

4. 支柱材

5. 幹巻き用材料

6. 芝張り

7. 枯補償等

8. 屋上緑化

24 工事現場の環境改善・建設副産物及びISO14001関係

① 工事現場の環境改善について

② 産業廃棄物の取扱いについて

③ 再生資源利用促進計画等について

④ ISO 14001関係

⑤ 通積載の禁止

25 その他

① 保険等

② その他

3. 不具合の確認

安曇野市

令和5年度(明許繰越) 堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)

特記仕様書(4)

令和5年度（明許繰越）堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事（Ⅲ期）解体工事特記仕様書

I 解体工事概要

1. 工事場所 安曇野市堀金鳥川2 1 2 6

2. 敷地面積 (㎡) 34,921.00 ㎡

3. 除却対象物 建築物 ・ 工作物 ・ 建築設備 ・ 家具等 ・ 樹木 ・ その他

除却対象建築物等	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
別紙図面記載による						

II 解体工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下、「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「標準仕」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕」という。)による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。
印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
印と印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

5. 屋外設備等 電柱、コンクリート引込柱の撤去 ・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない
外灯の撤去 ・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない
屋外テレビアンテナ ・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない

6. 解体後の整地 解体後の埋戻し及び盛土 (3.11.1)
・ 行う
・ 整地高さ
・ 現状GL ・ 行う (・ 図示 ・)
・ 埋戻し及び盛土の材料
・ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土中の良質土 ・ 再生コンクリート砂
埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。
・ 行わない

機械設備及び電気設備の切替・遮断等

4. 再資源化等

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設等
<input checked="" type="radio"/> コンクリート	※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による
<input checked="" type="radio"/> コンクリート及び鉄からなる建設資材 (PC板、コンクリート板、コンクリート二次製品)	※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による
<input checked="" type="radio"/> 木材	※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による
<input checked="" type="radio"/> 木材(縮減)	※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による
・ アスファルトコンクリート	※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による
<input checked="" type="radio"/> 金属類	※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による
<input checked="" type="radio"/> 小型二次電池	※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による
<input checked="" type="radio"/> 蛍光ランプ、HIDランプ	※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による
<input checked="" type="radio"/> 電気配線管、継手	※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による

2. 現場利用する再資源化された建設廃棄物

名称	仕様	数量	備考

3. 産業廃棄物区域認定 制度の活用

種類	所在地
・ 図示	・ 現場説明書による
・ 図示	・ 現場説明書による

4. 最終処分する建設廃棄物

名称	最終処分場の種類	数量	備考
・ 廃石膏ボード	※管理型		
(7A)ト含有物を含む)			
・ 7A)ト含有成形板	※安定型 ・ 管理型		
・ 煙灰			

5. 処理に注意を要する建設廃棄物

名称	仕様	数量	備考
・ 特定廃石膏ボード			
・ COA処理木材			

最終処分施設
※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による

「特定廃石膏ボード」とは、次の工場で製造された石膏ボード製品が廃棄物となったもの。
①ひ素混入石膏ボード
商品名：タイガーボード
工場名：小名浜吉野石膏製いわき工場 裏面表示マークは「吉野石膏0Y」
製造期間：昭和48年3月～平成9年4月
JIS許可番号：277057、277058
ロット番号：0378○○○○○○○○○0497○○○○○○○○○

②カドミウム混入石膏ボード
商品名：アドラせっこうボード
工場名：日東石膏ボード㈱八戸工場 裏面表示マークは「日東石膏ボード株式会社」
製造期間：平成4年10月～平成9年4月
JIS許可番号：265023、265024
ロット番号：A4Y410～A9430

2. 特別管理産業廃棄物の処理 (5.4.1)

特別管理産業廃棄物の種類	仕様	数量	備考
・ 廃石膏			
・ 廃油			
・ 廃酸			
・ 廃アルカリ			

処理施設
※監督員の承諾する施設 ・ 図示 ・ 現場説明書による

3. PCBを含む機器類 引渡しを要する機器類 (5.4.3)
・ 安定器 (PCB含有の場合)

4. PCB含有シーリング材 撤去方法 (5.4.4)
※「標準仕様書(日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。

撤去範囲 ※図示

5. 特殊な建設副産物の改修及び処分 (5.5.1)

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称	保管場所の名称
・ フロン	※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所	
・ ハロン	※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所	
・ イオン化式感知器	※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所	
・ 六ふっ化硫黄 (SF ₆ ガス)	※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所	

6. アスベスト含有物分析調査 (6.1.3)

材料名	調査方法	分析を行う箇所	備考
(1材料あたりの試料数)			
・ 定性分析 (※3 -)	※図示		
・ 定量分析 (※3 -)	・ 仕上表による		
・ 定性分析 (※3 -)	※図示		
・ 定量分析 (※3 -)	・ 仕上表による		
・ 定性分析 (※3 -)	※図示		
・ 定量分析 (※3 -)	・ 仕上表による		

分析方法
JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
分析結果については、監督職員に提出すること。

2. アスベスト粉じん濃度測定 (6.1.4)

アスベスト粉じん濃度測定
測定場所 ※図示
測定点 ※図示

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定はJIS K3850-1空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び定量電子顕微鏡法による位相差・分散顕微鏡法による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

3. 7A)ト含有吹付け材の除去 (レベル1) (6.3.2)

アスベスト含有吹付け材の除去方法
解体共仕6.3.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。

除去物及び汚染物質等
※密封処理 (二重袋梱包)
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

4. 7A)ト含有保温材等の除去 (レベル2) (6.4.2)

アスベスト含有保温材等の除去方法
解体共仕6.4.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。

除去物及び汚染物質等
※密封処理 (二重袋梱包)
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

5. 7A)ト含有成形板の除去 (レベル3) (6.5.2)

アスベスト含有成形板の除去方法
解体共仕6.5.2によるものとする。

7. その他

工事現場の環境改善について

① 環境美化
・ 周囲の美化
・ 地域住民への情報提供
・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成
・ 周辺住民への概要説明等
住民に対する災害防止関係
現場出入口周辺への誘導員の配備

産業廃棄物の取扱いについて

① 産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。
(ⅰ) 搬出された産業廃棄物の処理状況記録
① 処理の全部又は一部を委託した場合
ア 収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票 (以下「マニフスト」という。)A票、B票、D票及びE票 (建Ⅱの場合はB票を加える。)の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量集計表
イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真 (中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真)
② 請負者が自ら処理した場合
ア マニフストに準じた解体材の種類ごとの数量集計表
イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真 (中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真)
③ 特別管理産業廃棄物の場合
①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。
(ⅱ) 産業廃棄物の再資源化実施状況記録
再生資源利用促進実施書に記載する事項
発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等
(ⅲ) 写真
① 工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真
② 仮設物、安全措置状況及び工程写真 (除却作業状況、埋設配管等及び基礎等は入念に撮影すること。)
③ 使用機械類
④ 産業廃棄物収集運搬車両への積込み時及び積降し時の写真
⑤ しゅん工時の全景写真 (着手時と同一アングルとする。)
⑥ その他監督職員の指示による

3. 収集運搬車両

4. 騒音、振動調査

5. 土壌調査

6. 官庁その他への届出手続等

7. 緩急に関する協議等

8. 文化財その他の埋蔵物

9. 埋蔵文化財調査

10. 工事実績情報 (工事始)の登録

11. 保険等

12. その他

解体工事の施工に伴う解体材、土砂及び工事用資材等 (以下「解体材等」という)を収集及び運搬する車両の使用に当たっては、交通事故及び交通災害の防止に努めるとともに次の事項を遵守する。

- ① 運搬を委託する場合は許可を得た車両を使用させ、許可証の写しを常備させる。
- ② 廃棄物の性状に応じ、飛散、流失しない適切な構造の運搬車両を使用する。
- ③ 積載重量制限を超えて解体材等を積み込まず、また積み込ませない。
- ④ さし枠差着車、不表示車等に解体材を積み込まず、また積み込ませない。
- ⑤ タイヤ又は車体に廃棄物を付着させたままの運搬をさせないよう、洗浄、清掃を行う。
- ⑥ 運搬経路の選定として運行上の安全と街路周辺環境に配慮する。

調査の有無 ・ 無 ・ 有
調査方法については設計図書による。

調査項目 ・ 土壌調査 ・ 土壌調査 (含有量試験) ・ /4748砂抽出調査 ・ 廃棄物含有調査
土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。
調査箇所については設計図書による。

(1) 工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。
(2) 前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。

設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。

工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発見者が保有する。

「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当 ・ 該当する ・ 該当しない
掘削作業時の教育委員会等の立会い ・ 有 ・ 無
埋蔵文化財調査の時期 ・ 解体工事終了後 ・ 解体工事中

工事請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報 (工事カルテ)の登録をすること。
(ただし工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。)

登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に (財)日本建設情報総合センター (JACI)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。
なお、変更時と完成時の間が10日以内を満たさない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- ① 工事受注時 契約締結後10日以内
- ② 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内
- ③ 工事完成時 工事完成後10日以内

(連絡先： (財)日本建設情報総合センター TEL03-3505-2973)

工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。

- (1) 暴行・暴言から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。
- (2) 下請負契約締結後、速やかに下請負人通知書を提出すること。
- (3) 下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制、施工体系、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。
・ 交通整理員、ガードマン
・ 産業廃棄物処理業者
・ ダンプ運転 (1人乗りのダンプ運転手)
・ 1日で完了する請負契約、小規模な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約
・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの
・ クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合
・ 他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合 (臨時雇用関係である場合を除く)
- (4) 本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等県から調査依頼があった場合は、これに協力すること。
- (5) 施行途中において、会計局検査課職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜き検査を実施する場合においては、これに協力すること。
- (6) 当該解体工事における影響で、既存建築物、付属施設および周辺道路等の構造物に損傷を与えた場合は、監督員と協議し復旧すること。なお、復旧に伴う費用は請負者の負担とすること。
- (7) 工事現場周辺は第三者の通行も想定されるため、車輦の通行については細心の注意を図るとともに、必要に応じて関係者と協議すること。

(10) 作業時間については、以下とする。

※監督員・監理者と状況に応じた作業時間を確認・調整すること。

安曇野市

担当

工事名称

令和5年度（明許繰越）
堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事（Ⅲ期）

図面名称

解体工事特記仕様書

縮尺 A1:1/200 A3:1/400 日付 2024/03/29

NO.

A-07

● 工事概要 (詳細は各階平面図他図面記載による)

工事名称 令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)
 工事場所 安曇野市堀金鳥川2126
 主要用途 中学校
 工事種別 改修(北校舎1階 生徒用トイレ設備の改修 機器類・配管類全面改修工事 伴う建築改修工事)
 敷地面積 34,921.00 m²
 用途地域 都市計画区域内(区域区分非設定)
 防火地域 指定なし
 建ぺい率 60%
 容積率 200% ※本工事において建築物の新築・増築は生じない
 工事内容 ○北校舎1階のトイレ施設の全面改修
 ・生徒用男子女子トイレ 内装・設備機器及び設備配管全面改修
 ・水飲場、隣接廊下 内装及び設備機器の部分改修 設備配管全面改修
 ・北校舎様の給排水管(1階~3階)縦配管(メイン管)の改修

● 全体面積表

・敷地面積	34,921.00m ²
・建築面積	7,655.14m ²
計画建物(新築)	0.00m ²
合計	5,309.22m ²
・建築率	15.21%
・延床面積	7,655.14m ² < 60%
・容積率	計画建物(新築) 0.00
・延床面積	合計 7,655.14m ²
・容積率	21.93% < 200%

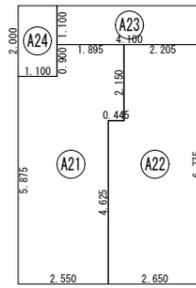
■法規チェック

- ・建築基準法
本工事における増築なし
工事対象部分に居室なし
採光・換気・排煙の検討 施行令第126条の2第2号により対象外
- ・消防法
対象部分の既存警報器その他消防関連設備はすべて一時撤去、復旧とする
現状設備の新設、増設の必要なし
(松本広域消防資料署予防担当との協議済 2017/02/13)

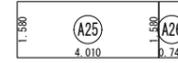


工期	部位	棟名	階数	室名	面積表 No	床面積計算	端数処理後	補助対象(●印)	補助対象面積	補助対象外面積
Ⅱ期工事	施工部分	北校舎	1階	男子便所	A21	17.243000	17.24	●	17.24	
				女子便所	A22	16.997000	17.00	●	17.00	
				便所前室	A23	4.510000	4.51	●	4.51	
				便所P S	A24	2.200000	2.20	●	2.20	
				水飲場	A25	6.335800	6.34		6.34	
				水飲場 P S	A26	1.169200	1.17		1.17	
			2階	男子便所	A27	17.243000	17.24	●	17.24	
				女子便所	A28	16.997000	17.00	●	17.00	
				便所前室	A29	4.510000	4.51	●	4.51	
				便所P S	A30	2.200000	2.20	●	2.20	
				水飲場	A31	6.335800	6.34		6.34	
				水飲場 P S	A32	1.169200	1.17		1.17	
			3階	男子便所	A33	16.508625	16.51	●	16.51	
				女子便所	A34	16.997000	17.00	●	17.00	
				便所前室	A35	4.510000	4.51	●	4.51	
				便所P S	A36	1.950000	1.95	●	1.95	
				水飲場	A37	6.335800	6.34		6.34	
PH階	水飲場 P S	A38	1.169200	1.17		1.17				
	受水槽室	A41	27.139950	27.14		27.14				
小計						82.09		45.10	36.99	
					面積比率	100.00%		54.94%	45.06%	
仮設部分	北校舎		1階	便所周囲一階段室	a5	124.229600	124.22		124.22	
			2階	便所周囲一階段室	b3	88.014100	88.01		88.01	
			3階	便所周囲一階段室	c1	97.114100	97.11		97.11	
小計						309.34		0.00	309.34	
合計						391.43		45.10	346.33	

※仮設部分の床面積は各階平面図に記載



北校舎1階



北校舎1階男子便所

形状	計算式	面積
A21	領域	17.243000
面積	計(m ²)	17.243000

北校舎1階女子便所

形状	計算式	面積
A22	領域	16.997000
面積	計(m ²)	16.997000

北校舎1階便所前室

形状	計算式	面積
A23	矩形	4.100 x 1.100
面積	計(m ²)	4.510000

北校舎1階便所P S

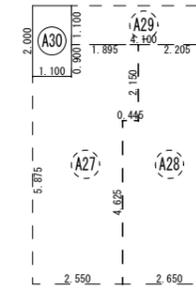
形状	計算式	面積
A24	矩形	1.100 x 2.000
面積	計(m ²)	2.200000

北校舎1階水飲場

形状	計算式	面積
A25	矩形	4.010 x 1.580
面積	計(m ²)	6.335800

北校舎1階水飲場 P S

形状	計算式	面積
A26	矩形	0.740 x 1.580
面積	計(m ²)	1.169200



北校舎2階



北校舎2階男子便所

形状	計算式	面積
A27	領域	17.243000
面積	計(m ²)	17.243000

北校舎2階女子便所

形状	計算式	面積
A28	領域	16.997000
面積	計(m ²)	16.997000

北校舎2階便所前室

形状	計算式	面積
A29	矩形	4.100 x 1.100
面積	計(m ²)	4.510000

北校舎2階便所P S

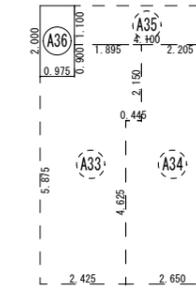
形状	計算式	面積
A30	矩形	1.100 x 2.000
面積	計(m ²)	2.200000

北校舎2階水飲場

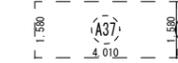
形状	計算式	面積
A31	矩形	4.010 x 1.580
面積	計(m ²)	6.335800

北校舎2階水飲場 P S

形状	計算式	面積
A32	矩形	0.740 x 1.580
面積	計(m ²)	1.169200



北校舎3階



北校舎3階男子便所

形状	計算式	面積
A33	領域	16.508625
面積	計(m ²)	16.508625

北校舎3階女子便所

形状	計算式	面積
A34	領域	16.997000
面積	計(m ²)	16.997000

北校舎3階便所前室

形状	計算式	面積
A35	矩形	4.100 x 1.100
面積	計(m ²)	4.510000

北校舎3階便所P S

形状	計算式	面積
A36	矩形	0.975 x 2.000
面積	計(m ²)	1.950000

北校舎3階水飲場

形状	計算式	面積
A37	矩形	4.010 x 1.580
面積	計(m ²)	6.335800

北校舎3階水飲場 P S

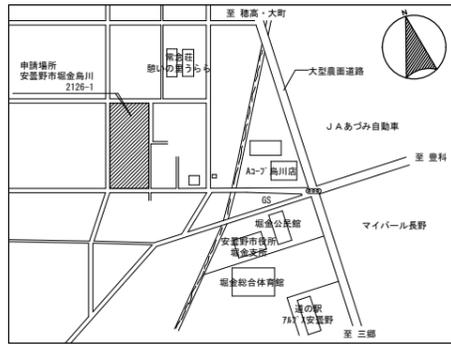
形状	計算式	面積
A38	矩形	0.740 x 1.580
面積	計(m ²)	1.169200

内部仕上表 Ⅱ期

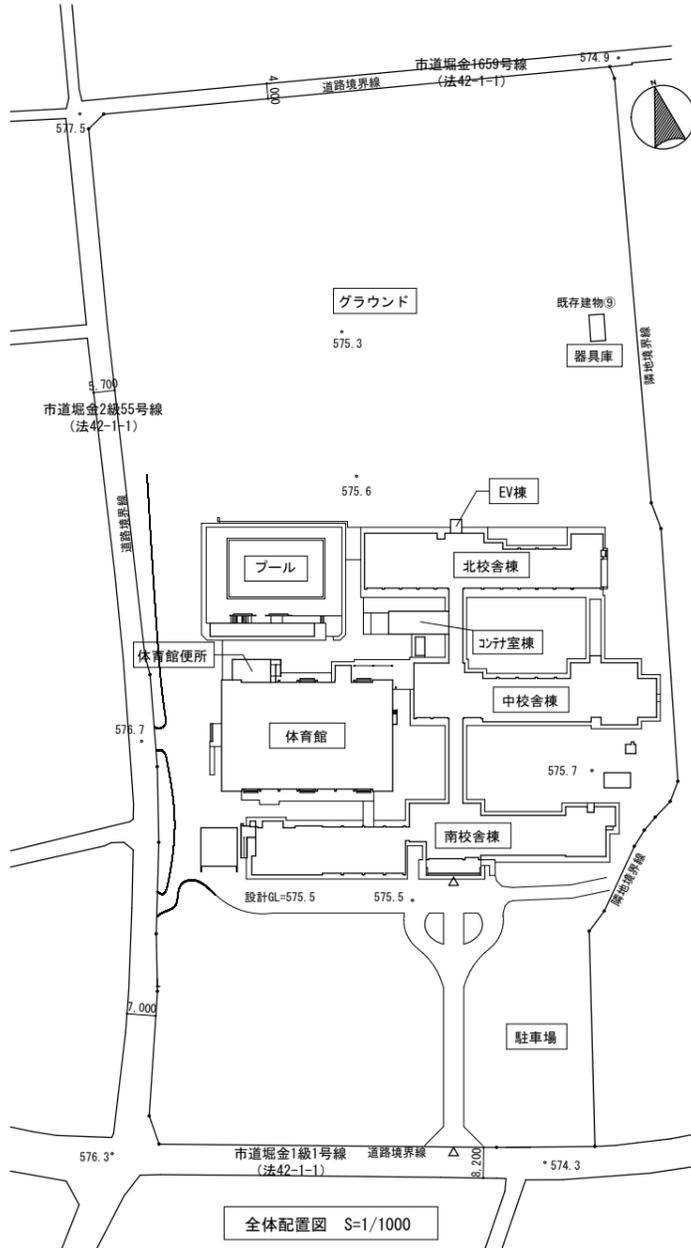
棟名	階数	室名	区分	床	FL高	巾木	巾木高	腰壁	壁	壁上部	廻り縁	天井	天井高	備考	
北校舎	1階	男子便所	現況	磁器質タイル タイル下地	-50	なし	-	-	磁器質タイル タイル下地	タイル金目塗装 タイル部分保新	77E	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地	2500	大 小便器/トイレ-2撤去 手洗い、掃除用洗し/建具・枠撤去	
			改修	長尺塩ビシート タイル下地 接着剤塗布	±0	床材立上	100	不燃化粧板 耐水石膏ボード	タイル薄塗調整 タイル部分LGS下地	接着剤塗布	77E 新設	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地設置	2450	便器撤去跡床コンクリート補修 入口建具新設/窓カバー工法施工 衛生設備機器/換気扇/トイレ新設/床汚重れ石	
		女子便所	現況	磁器質タイル タイル下地	-50	なし	-	-	磁器質タイル タイル下地	タイル金目塗装 タイル部分保新	77E	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地	2500	大便器/トイレ-3撤去 手洗い、掃除用洗し/建具・枠撤去	
			改修	長尺塩ビシート タイル下地 接着剤塗布	±0	床材立上	100	不燃化粧板 耐水石膏ボード	タイル薄塗調整 タイル部分LGS下地	接着剤塗布	77E 新設	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地新設	2450	便器撤去跡床コンクリート補修 入口建具新設/窓カバー工法施工 衛生設備機器/換気扇/トイレ新設	
		便所前室 廊下	現況	カーペット敷 タイル金目	撤去	±0	なし	-	-	R/C打放し	-	77E	化粧石膏ボード LGS下地	2450	SK用2'-3新設
			改修	カーペット新設 下地処理防塵塗装	±0	なし	-	-	-	R/C打放し	-	77E 新設	化粧石膏ボード LGS下地新設	2450	
	水飲み場	現況	長尺塩ビシート タイル金目	±0	木製	100	-	-	ケイ酸板+SOP塗装	-	77E	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地	2450		
		改修	長尺塩ビシート張替 下地処理	±0	SOP再塗装 下地処理	100	-	-	SOP再塗装 下地処理	PS層SOP再塗装 下地処理	既存のまま	EP再塗装 下地処理	2450	タイル 板金改修 窓枠SOP再塗装	
	2階	男子便所	現況	磁器質タイル タイル下地	-50	なし	-	-	磁器質タイル タイル下地	タイル金目塗装 タイル部分保新	77E	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地	2500	大 小便器/トイレ-2撤去 手洗い、掃除用洗し/建具・枠撤去	
			改修	長尺塩ビシート タイル下地 接着剤塗布	±0	床材立上	100	不燃化粧板 耐水石膏ボード	タイル薄塗調整 タイル部分LGS下地	接着剤塗布	77E 新設	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地設置	2450	便器撤去跡床コンクリート補修 入口建具新設/窓カバー工法施工 衛生設備機器/換気扇/トイレ新設/床汚重れ石	
		女子便所	現況	磁器質タイル タイル下地	-50	なし	-	-	磁器質タイル タイル下地	タイル金目塗装 タイル部分保新	77E	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地	2500	大便器/トイレ-3撤去 手洗い、掃除用洗し/建具・枠撤去	
			改修	長尺塩ビシート タイル下地 接着剤塗布	±0	床材立上	100	不燃化粧板 耐水石膏ボード	タイル薄塗調整 タイル部分LGS下地	接着剤塗布	77E 新設	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地新設	2450	便器撤去跡床コンクリート補修 入口建具新設/窓カバー工法施工 衛生設備機器/換気扇/トイレ新設	
便所前室 廊下		現況	カーペット敷 タイル金目	撤去	±0	なし	-	-	R/C打放し	-	77E	化粧石膏ボード LGS下地	2450	SK用2'-3新設	
		改修	カーペット新設 下地処理防塵塗装	±0	なし	-	-	-	R/C打放し	-	77E 新設	化粧石膏ボード LGS下地新設	2450		
水飲み場	現況	長尺塩ビシート タイル金目	±0	木製	100	-	-	ケイ酸板+SOP塗装	-	77E	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地	2450			
	改修	長尺塩ビシート張替 下地処理	±0	SOP再塗装 下地処理	100	-	-	SOP再塗装 下地処理	PS層SOP再塗装 下地処理	既存のまま	EP再塗装 下地処理	2450	タイル 板金改修 窓枠SOP再塗装		
3階	男子便所	現況	磁器質タイル タイル下地	-50	なし	-	-	磁器質タイル タイル下地	タイル金目塗装 タイル部分保新	77E	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地	2500	大 小便器/トイレ-2撤去 手洗い、掃除用洗し/建具・枠撤去		
		改修	長尺塩ビシート タイル下地 接着剤塗布	±0	床材立上	100	不燃化粧板 耐水石膏ボード	タイル薄塗調整 タイル部分LGS下地	接着剤塗布	77E 新設	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地設置	2450	便器撤去跡床コンクリート補修 入口建具新設/窓カバー工法施工 衛生設備機器/換気扇/トイレ新設/床汚重れ石		
	女子便所	現況	磁器質タイル タイル下地	-50	なし	-	-	磁器質タイル タイル下地	タイル金目塗装 タイル部分保新	77E	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地	2500	大便器/トイレ-3撤去 手洗い、掃除用洗し/建具・枠撤去		
		改修	長尺塩ビシート タイル下地 接着剤塗布	±0	床材立上	100	不燃化粧板 耐水石膏ボード	タイル薄塗調整 タイル部分LGS下地	接着剤塗布	77E 新設	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地新設	2450	便器撤去跡床コンクリート補修 入口建具新設/窓カバー工法施工 衛生設備機器/換気扇/トイレ新設		
	便所前室 廊下	現況	カーペット敷 タイル金目	撤去	±0	なし	-	-	R/C打放し	-	77E	化粧石膏ボード LGS下地	2450	SK用2'-3新設	
		改修	カーペット新設 下地処理防塵塗装	±0	なし	-	-	-	R/C打放し	-	77E 新設	化粧石膏ボード LGS下地新設	2450		
水飲み場	現況	長尺塩ビシート タイル金目	±0	木製	100	-	-	ケイ酸板+SOP塗装	-	77E	ケイ酸板+EP塗装 LGS下地	2450			
	改修	長尺塩ビシート張替 下地処理	±0	SOP再塗装 下地処理	100	-	-	SOP再塗装 下地処理	PS層SOP再塗装 下地処理	既存のまま	EP再塗装 下地処理	2450	タイル 板金改修 窓枠SOP再塗装		

仕上表特記 ■ 上段：仕上 下段：下地 を示す
■ 使用材料はすべてF☆☆☆☆とする。

■参考 不燃化粧板 :メラミン不燃化粧板 アイカ 特1同等品
トイレブース :高圧樹脂メラミン化粧板 小松材+タ 特1FB-GP型同等品
汚重れ石 :タイル目録内防汚陶板 TOTO 水垢防止剤等



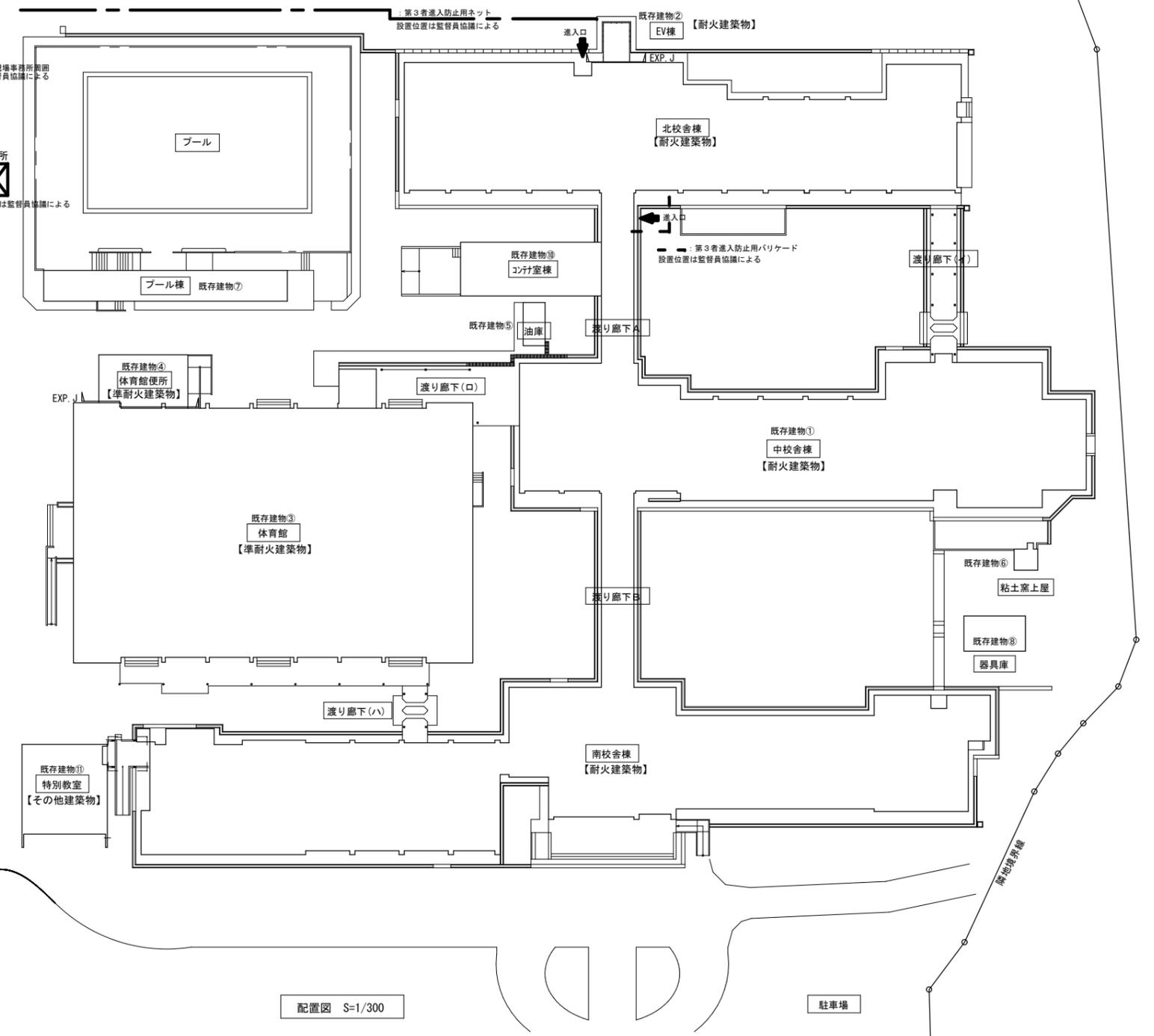
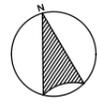
案内図



全体配置図 S=1/1000

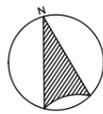
■ 既存建物

記号	建物名称	構造規模	高さ(m)	確認申請
既存建物①	校舎棟	鉄筋コンクリート造 3階建	14.950	S58.6.4 堀第10号 H4.8.26 第4-650号(増築)
既存建物②	E.V棟	鉄骨造 3階建	12.300	H22.02.16 21建住松第A1-560号
既存建物③	体育館棟	鉄骨造 2階建	11.750	
既存建物④	体育館便所	鉄骨造 平屋建	3.600	H22.02.16 21建住松第A1-560号
既存建物⑤	油庫	鉄筋コンクリート造 平屋建	2.600	S58.6.4 堀第10号
既存建物⑥	粘土窯上屋	鉄骨造 平屋建	2.500	S58.6.4 堀第10号
既存建物⑦	プール棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	3.900	
既存建物⑧	器具庫	鉄筋コンクリート造 平屋建	3.500	
既存建物⑨	器具庫	鉄筋コンクリート造 平屋建	3.500	
既存建物⑩	コンテナ室棟	鉄骨造 平屋建	4.235	H16.11.30 16建住松南第1-881号
既存建物⑪	特別教室棟	鉄骨造 平屋建	5.200	H24.06.18 24建住松第A1-688号

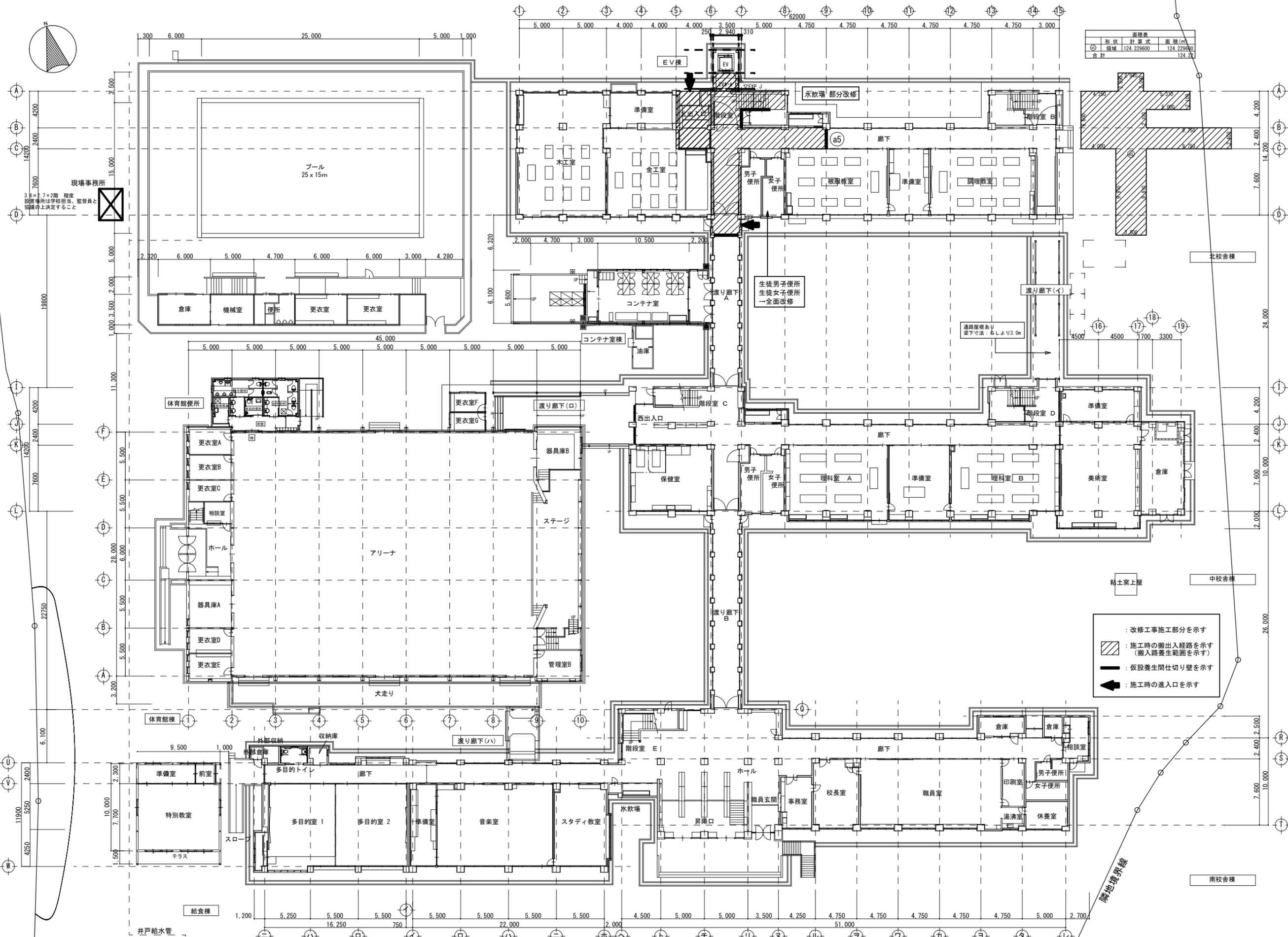


配置図 S=1/300

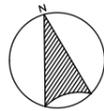
道路境界線



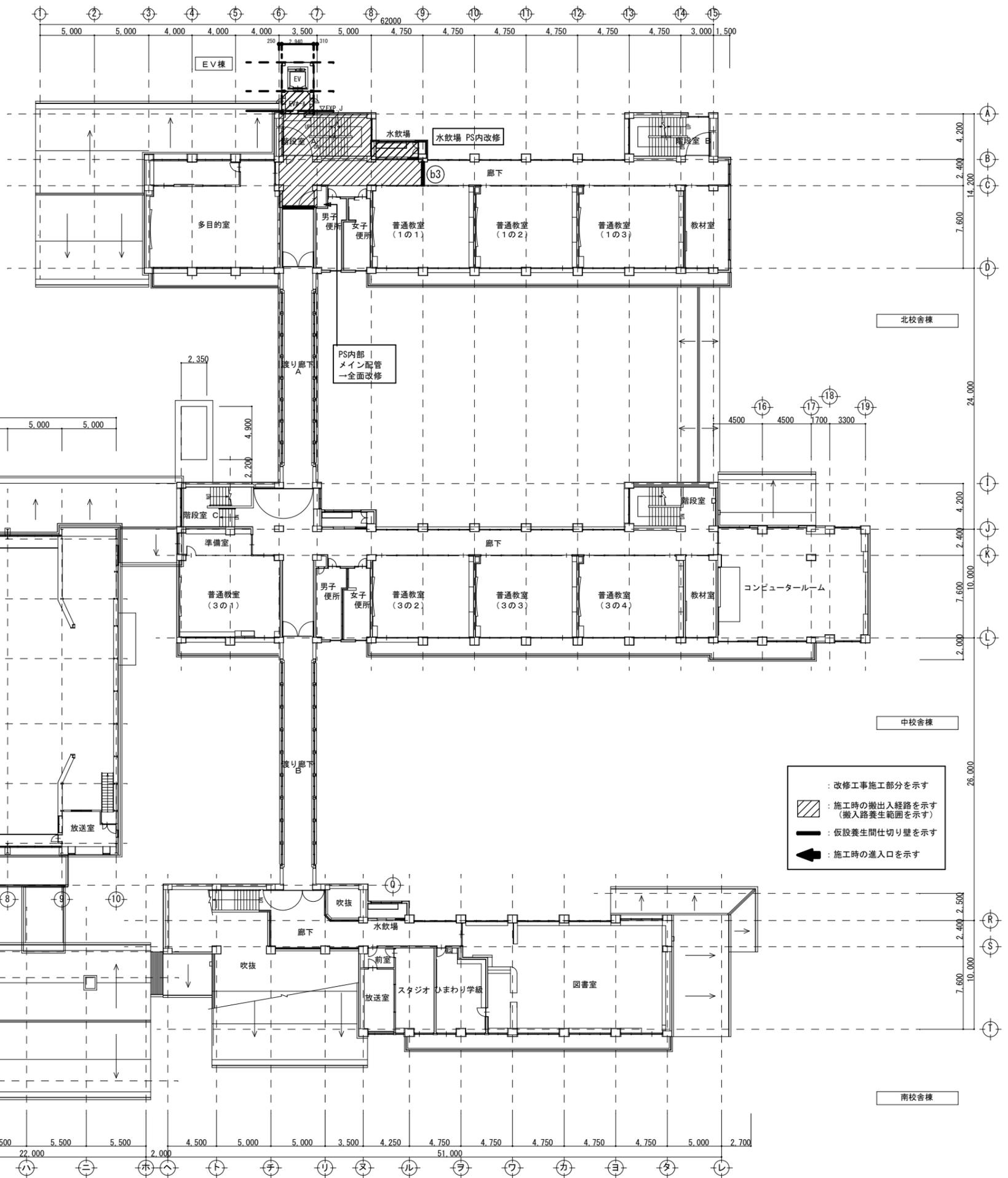
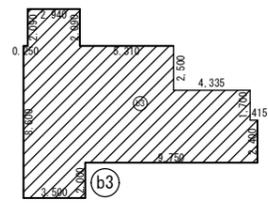
面積表		
形状	計算式	面積(m ²)
① 領域		124,229.600
合計		124,229

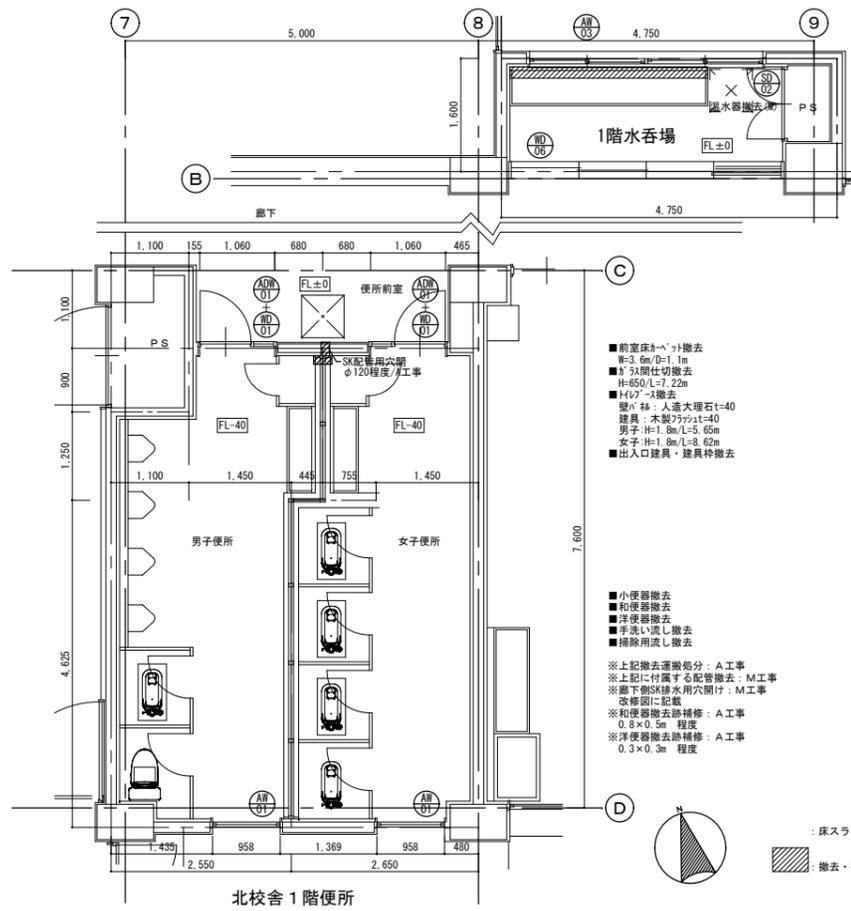


- ：改修工事施工部分を示す
- ：施工時の搬出入経路を示す
(搬入路養生範囲を示す)
- ：仮設養生間仕切り壁を示す
- ：施工時の進入口を示す

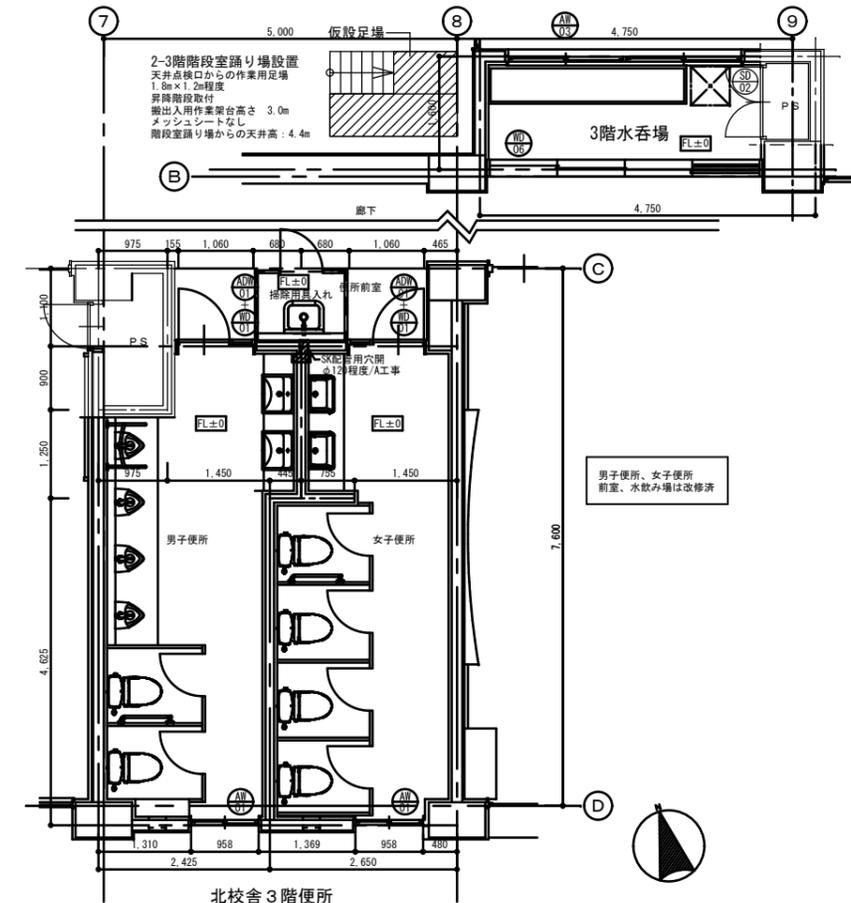
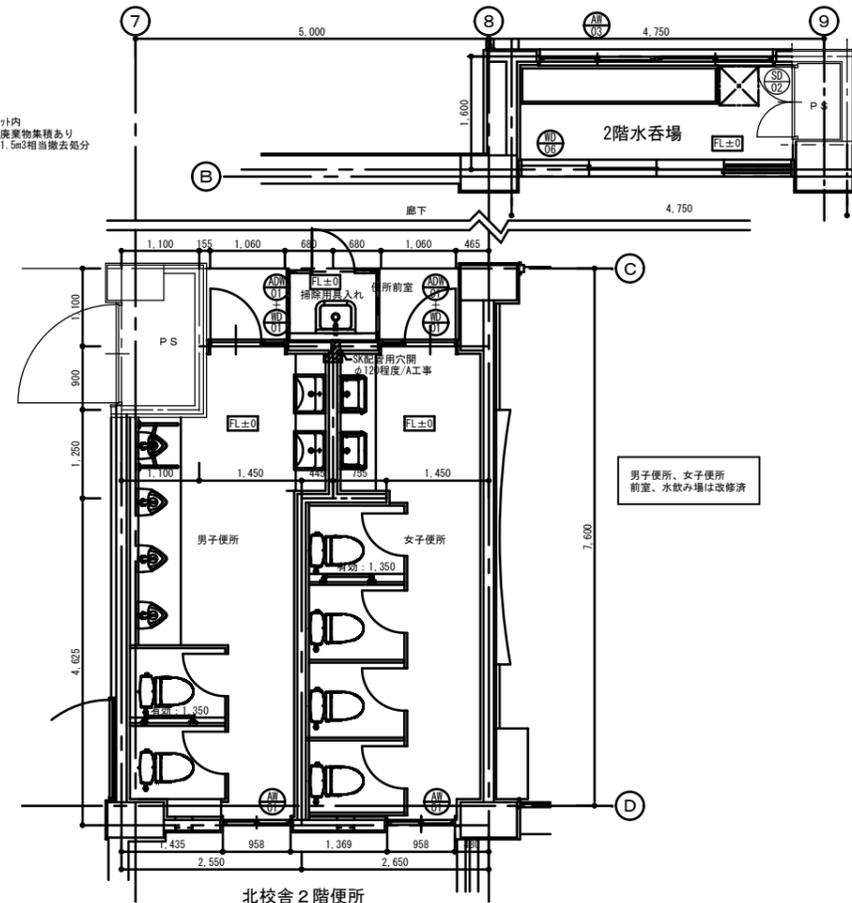
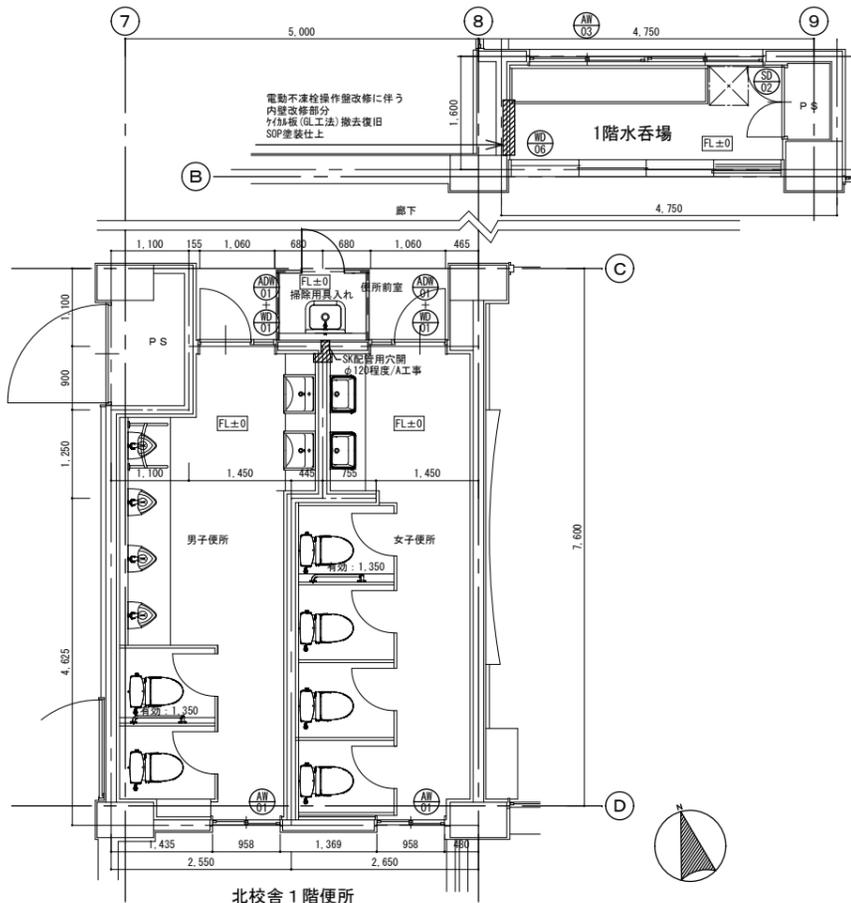
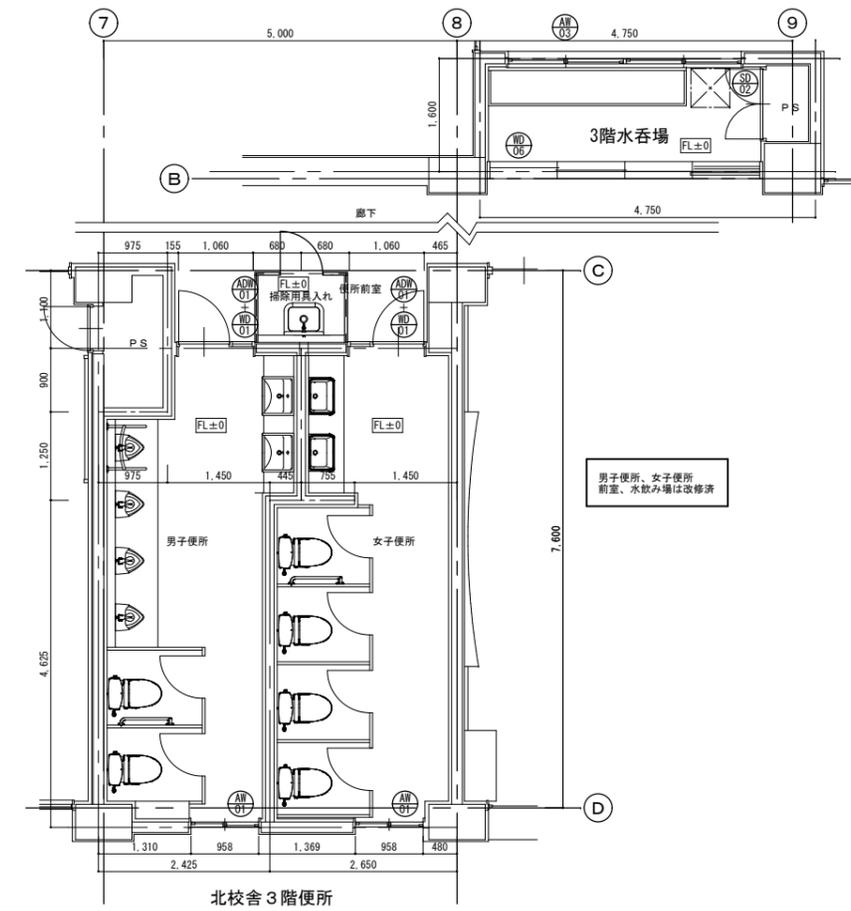
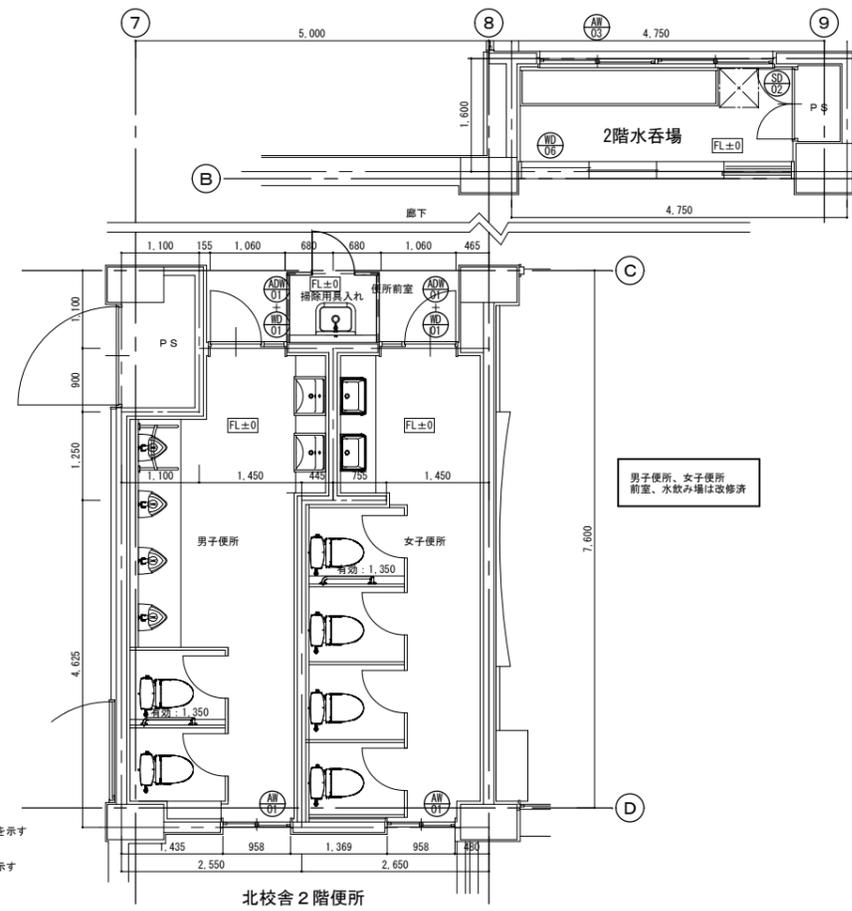


形状	計算式	面積(m ²)
①	領域	88.014100
②	領域	88.014100
合計		88.01

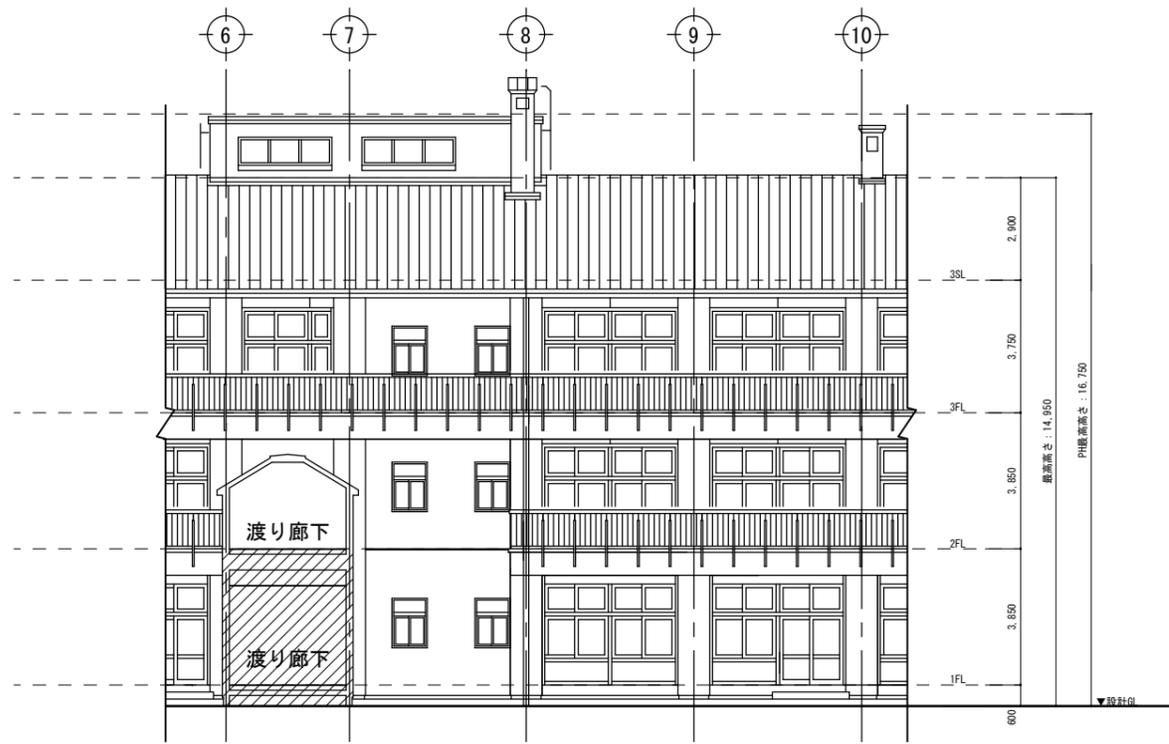




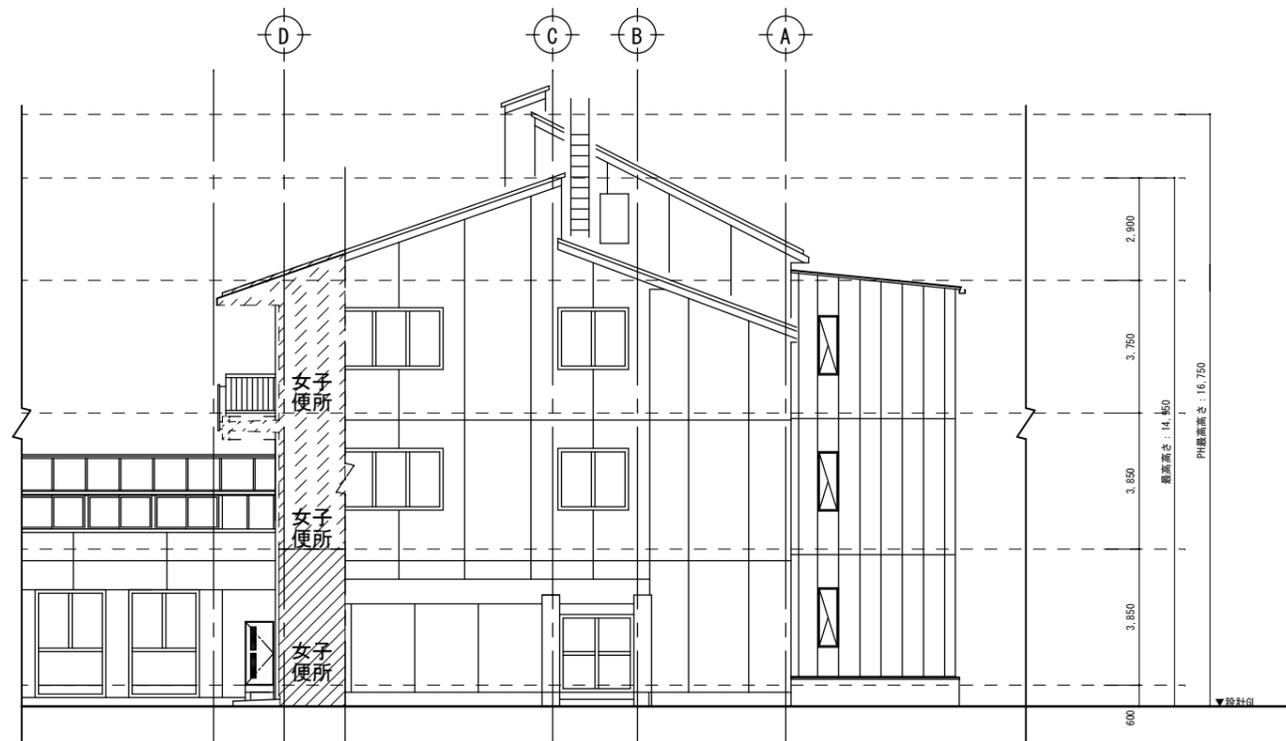
- 前室床 α - α' の撤去
W=3.6m/D=1.1m
- β の撤去
- γ の撤去
- δ の撤去
- ϵ の撤去
- ζ の撤去
- η の撤去
- θ の撤去
- ι の撤去
- κ の撤去
- λ の撤去
- μ の撤去
- ν の撤去
- ξ の撤去
- \omicron の撤去
- π の撤去
- ρ の撤去
- σ の撤去
- τ の撤去
- υ の撤去
- ϕ の撤去
- χ の撤去
- ψ の撤去
- ω の撤去
- δ の撤去
- ϵ の撤去
- ζ の撤去
- η の撤去
- θ の撤去
- ι の撤去
- κ の撤去
- λ の撤去
- μ の撤去
- ν の撤去
- ξ の撤去
- \omicron の撤去
- π の撤去
- ρ の撤去
- σ の撤去
- τ の撤去
- υ の撤去
- ϕ の撤去
- χ の撤去
- ψ の撤去
- ω の撤去



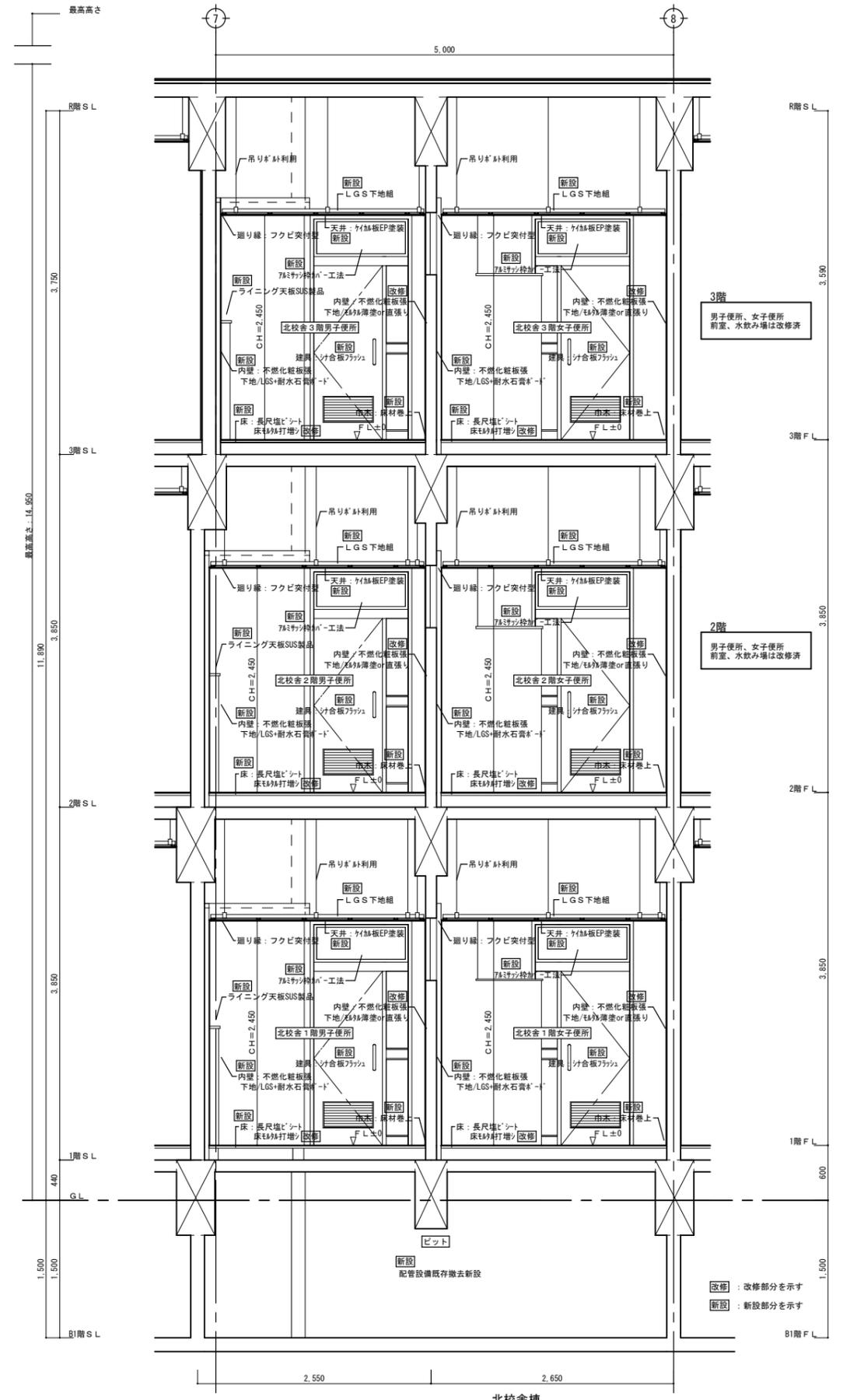
現況
改修



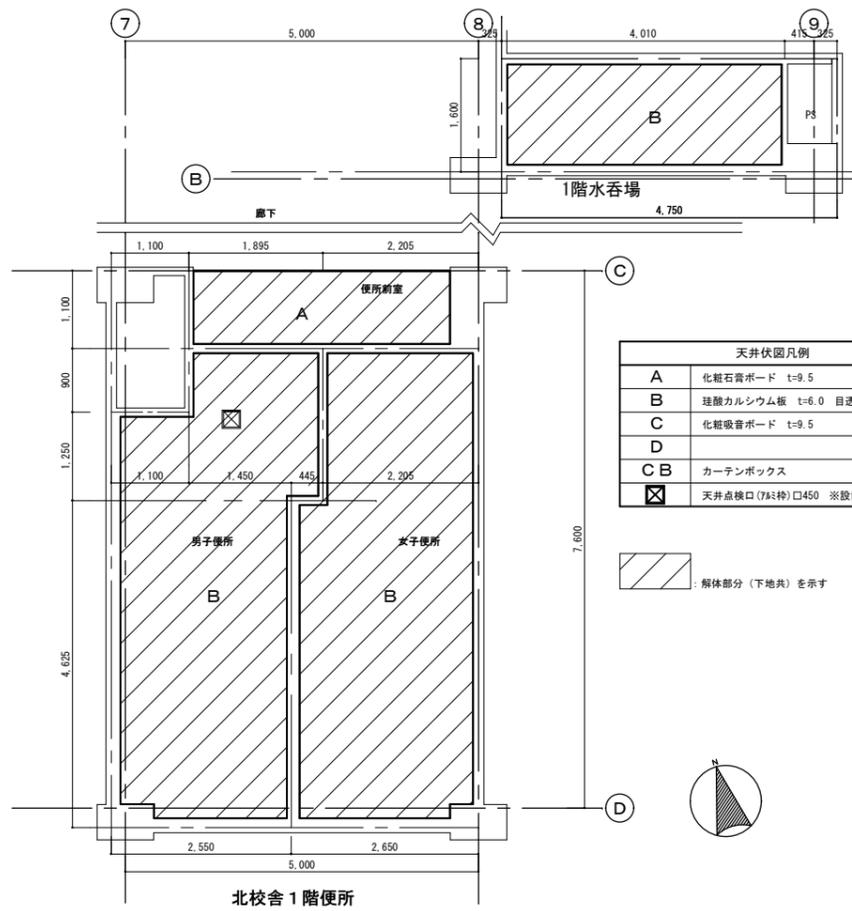
参考図
南側立面図 S:1/100



参考図
東側立面図 S:1/100



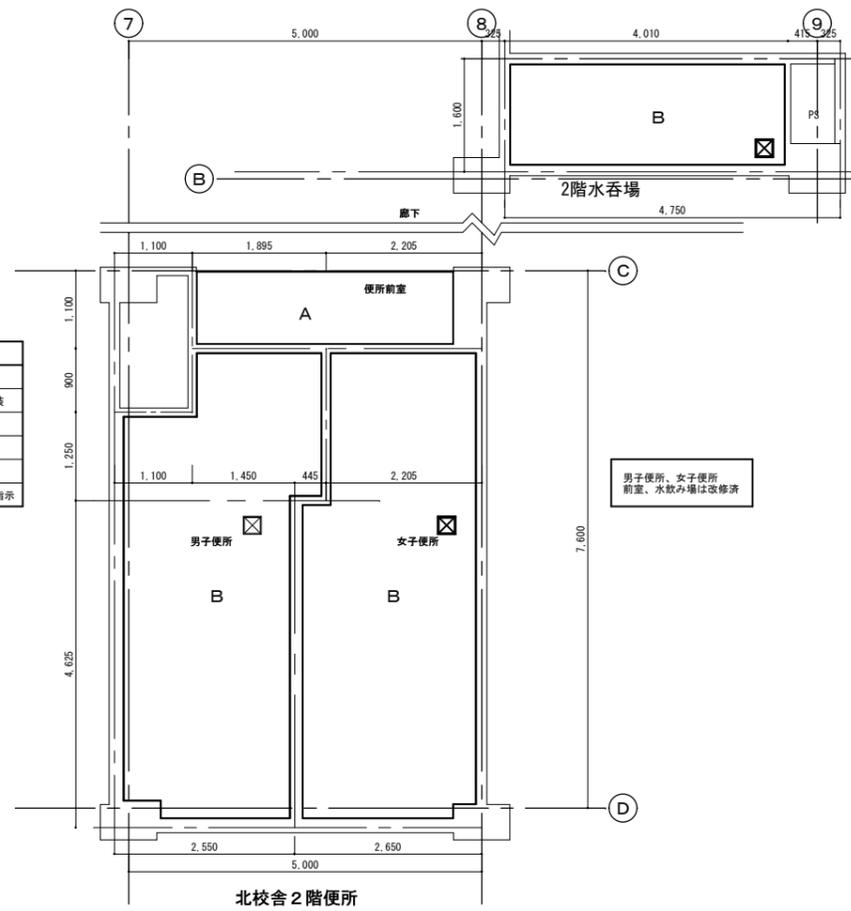
断面詳細図 S:1/30



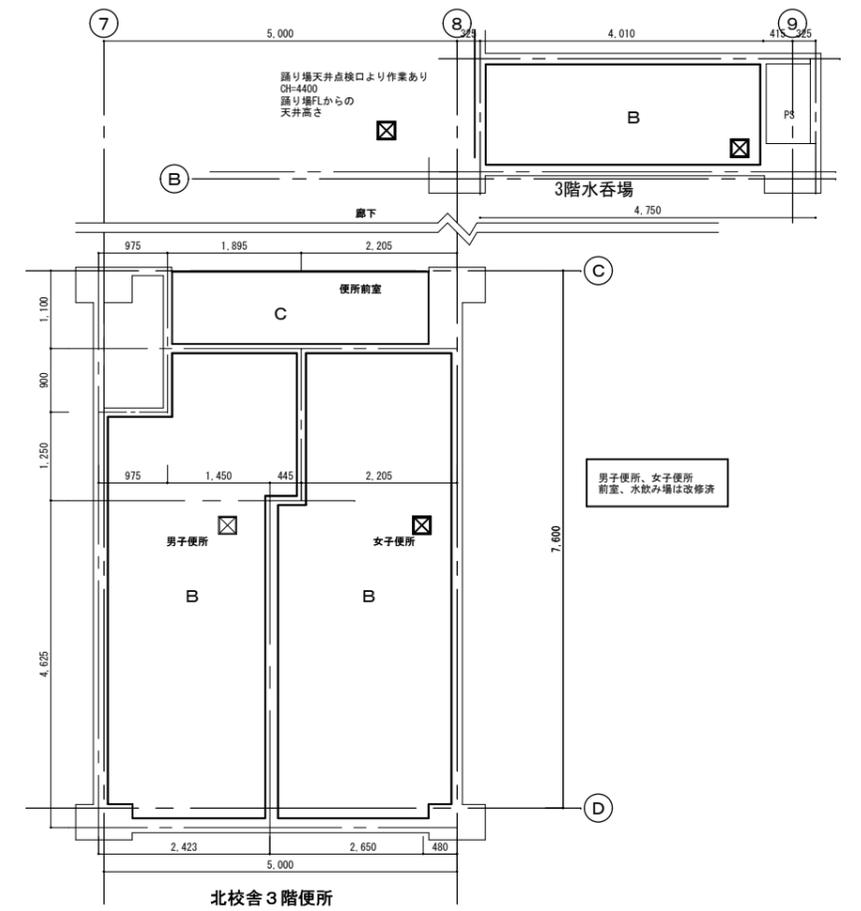
北校舎 1階便所

天井伏図凡例	
A	化粧石膏ボード t=9.5
B	珪酸カルシウム板 t=6.0 目透かし EP塗装
C	化粧吸音ボード t=9.5
D	
CB	カーテンボックス
☒	天井点検口 (7&3枠) 口450 ※設置位置:現場指示

☒ : 解体部分 (下地共) を示す

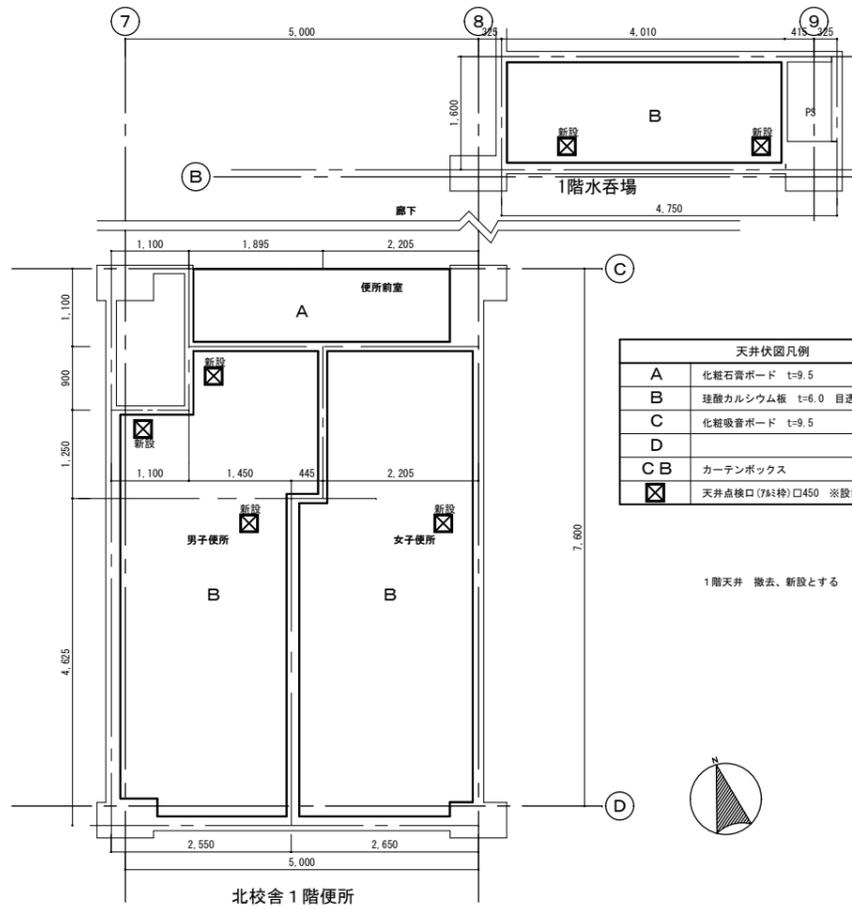


北校舎 2階便所



北校舎 3階便所

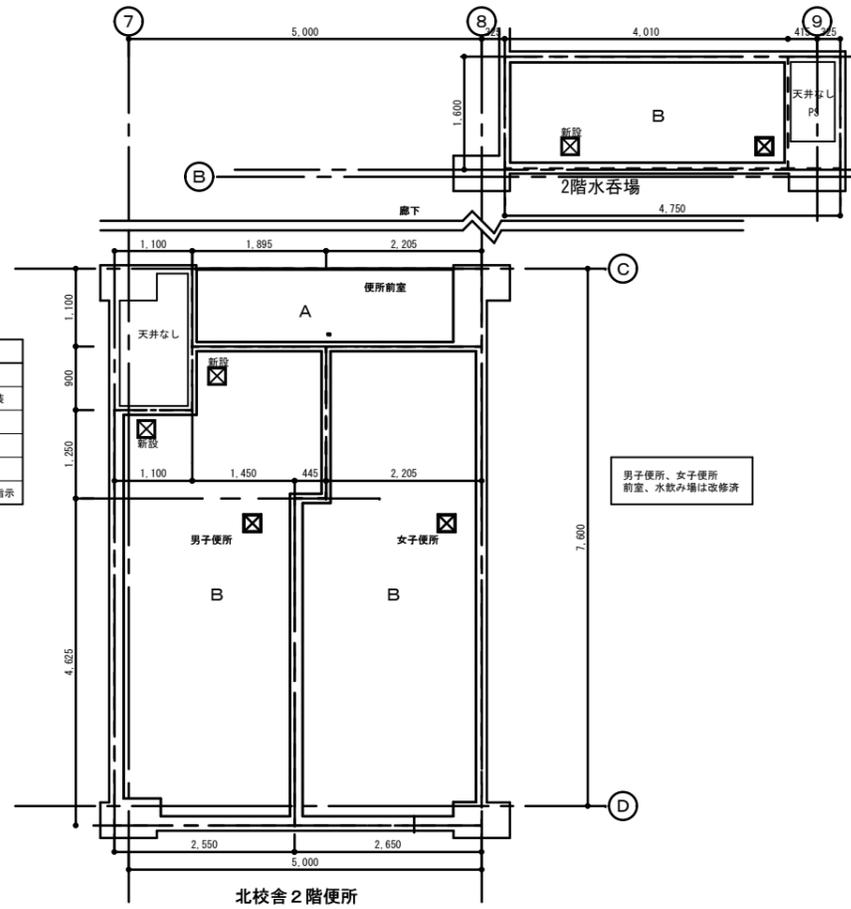
現況
改修



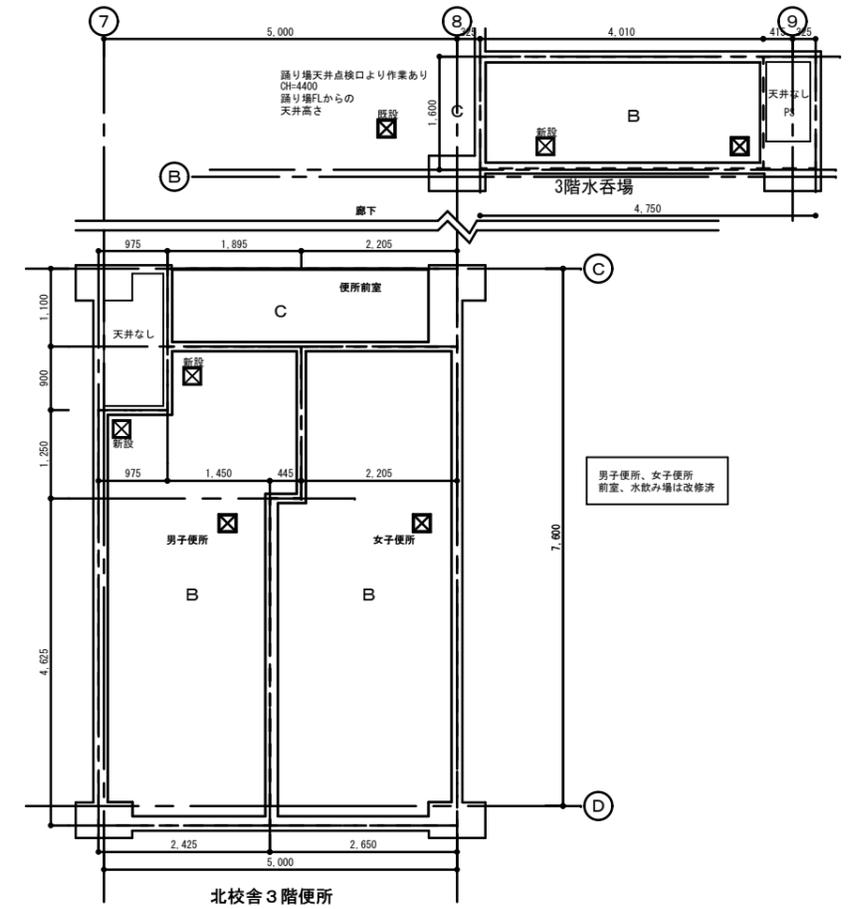
北校舎 1階便所

天井伏図凡例	
A	化粧石膏ボード t=9.5
B	珪酸カルシウム板 t=6.0 目透かし EP塗装
C	化粧吸音ボード t=9.5
D	
CB	カーテンボックス
☒	天井点検口 (7&3枠) 口450 ※設置位置:現場指示

1階天井 撤去、新設とする

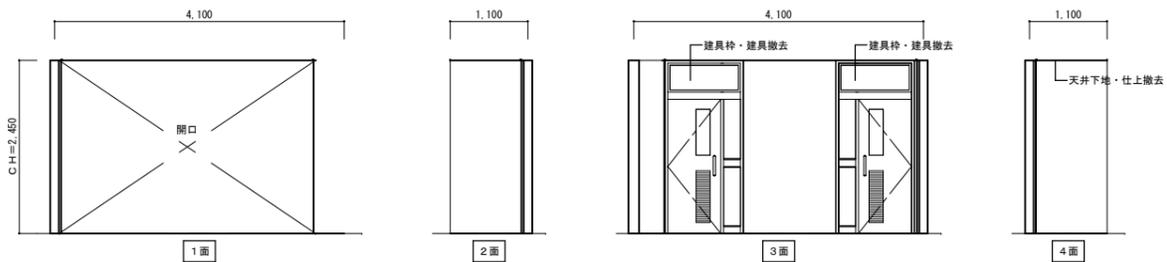


北校舎 2階便所



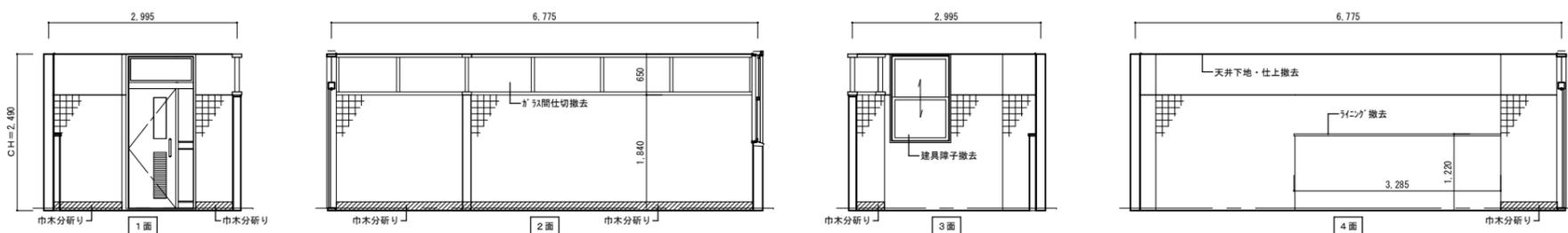
北校舎 3階便所

●北校舎 1階便所前室

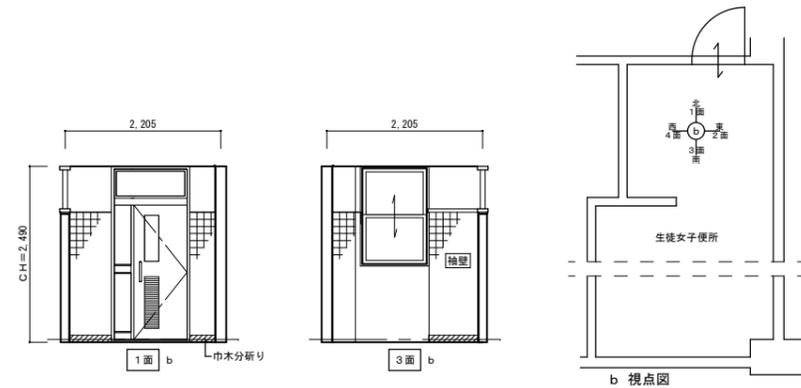
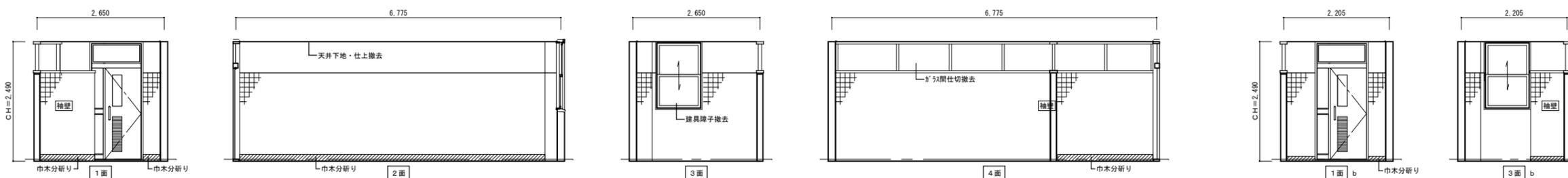


※設備機器は現況平面詳細図、機械設備図参照

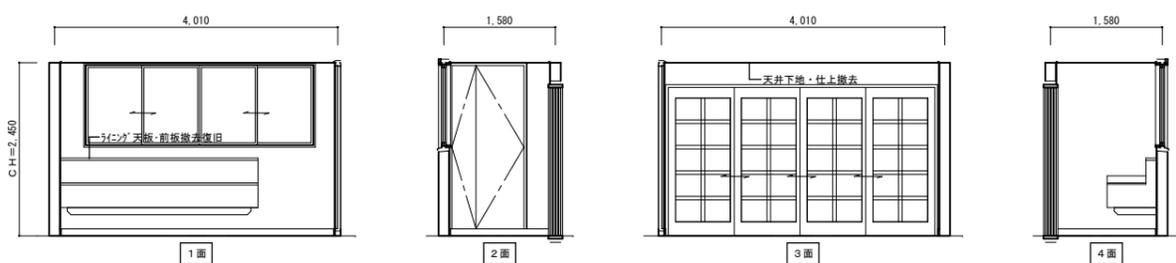
●北校舎 1階男子便所



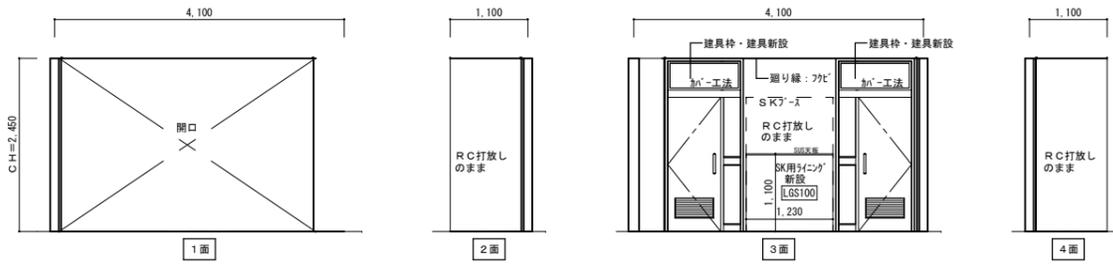
●北校舎 1階女子便所



●北校舎 1階水飲場

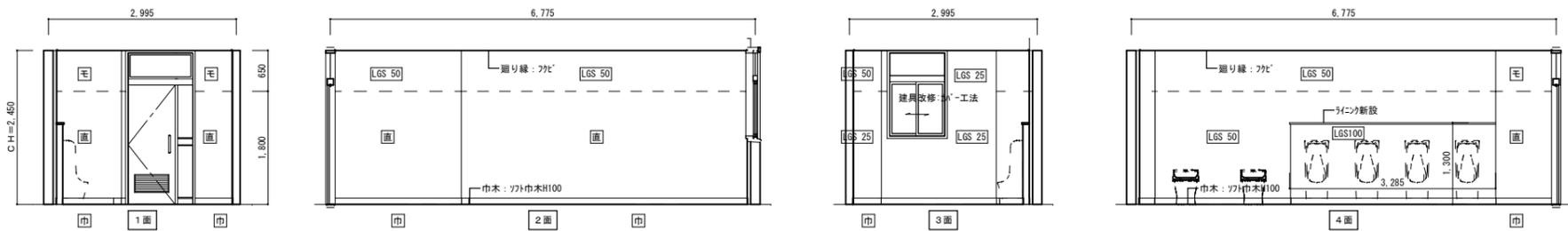


[北校舎]
● 1階便所前室

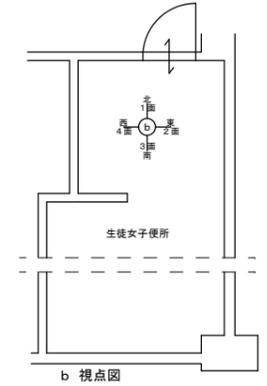
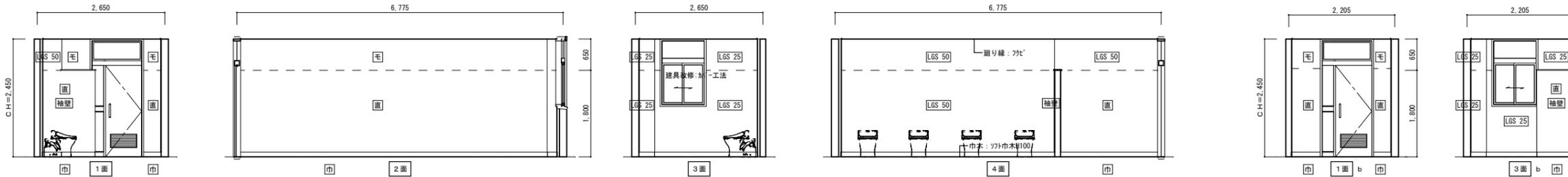


- 壁下地・仕上 凡例
- ☐ 木 : 木下地組+耐水ボード+不燃化粧板張
 - ☐ 画 : 不燃化粧板直張り
 - ☐ LGS 25 : LGS 25+耐水'-I'下地+不燃化粧板張
 - ☐ LGS 50 : LGS 50+耐水'-I'下地+不燃化粧板張
 - ☐ LGS100 : LGS100+耐水'-I'下地+不燃化粧板張
 - ☐ 毛 : モルタル薄塗下地+不燃化粧板張
 - ☐ 巾 : 巾木巻上用下地調整

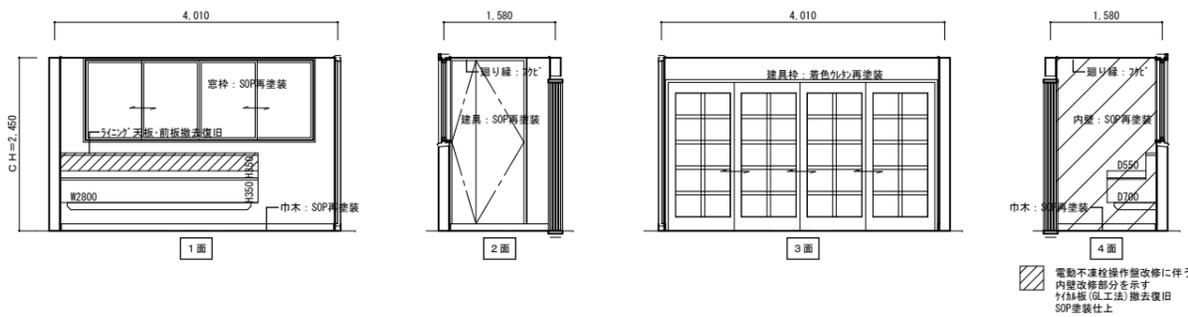
[北校舎]
● 1階男子便所

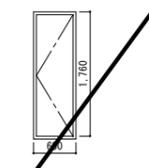
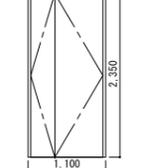
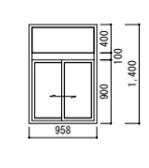
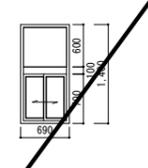
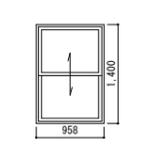
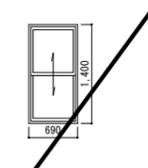
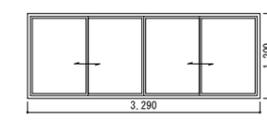
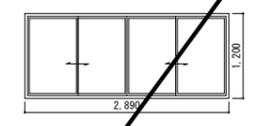
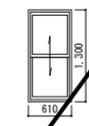
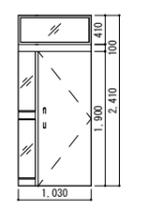
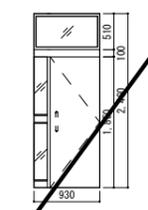
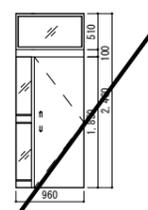
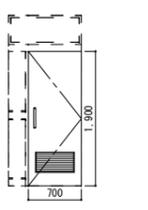
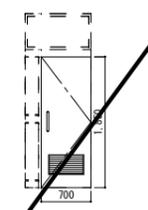
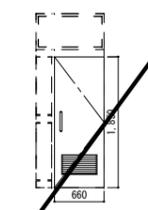
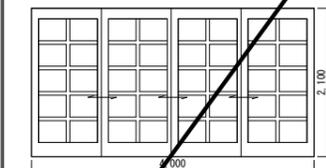
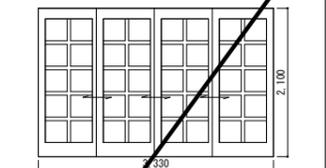
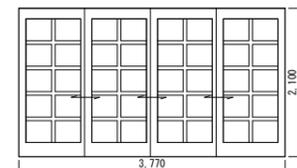


[北校舎]
● 1階女子便所



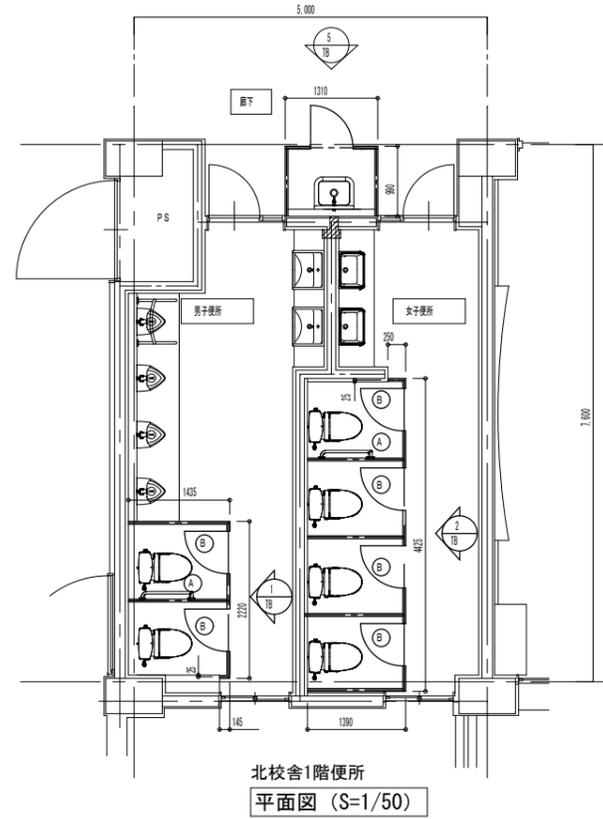
[北校舎]
● 1階水飲場



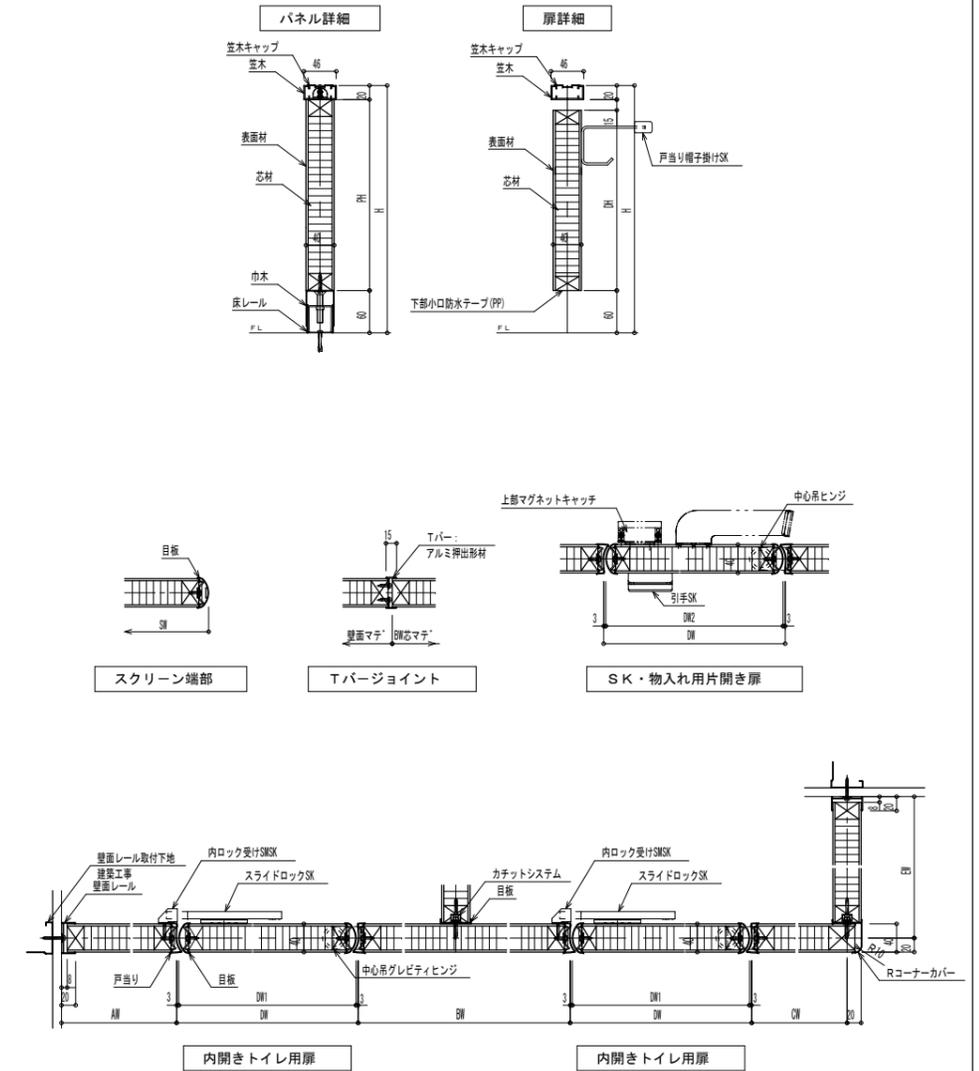
装	図	※既存	※既存	※新設	※新設	※参考 既存 障子撤去	※参考 既存 障子撤去
							
部	屋	中校舎2階男子便所	中校舎、北校舎水飲場各階PS	中校舎、北校舎各階男子女子便所	南校舎1階男子女子職員便所	中校舎、北校舎各階男子女子便所	1階女子便所
型	式	片開き	片開き親子	2枚引違い+F.I.X	2枚引違い+F.I.X	上げ下げ	上げ下げ
材	質	スチール製	スチール製	7&3製	7&3製	7&3製	7&3製
見	込	100	100	100	100	100	100
仕	上	S.O. 既存合わせ	S.O.P. 既存合わせ	シルバー色	シルバー色	シルバー色	シルバー色
ガ	ラ	なし	なし	F.L.4.0mm 型	F.L.4.0mm 型	F.L.4.0mm 型	F.L.4.0mm 型
金	物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備	考			※カバー工法による 改修内壁との見切縁施工含む	※カバー工法による 改修内壁との見切縁施工含む		
記	号	AW-01	AW-02	AW-01	AW-02	AW-01	AW-02
装	図	※既存	※既存	※既存			
							
部	屋	中校舎、北校舎各階水飲場	南校舎2階水飲場	南校舎1階水飲場			
型	式	4枚引違い	4枚引違い	上げ下げ			
材	質	7&3製	7&3製	7&3製			
見	込	100	100	100			
仕	上	シルバー色	シルバー色	シルバー色			
ガ	ラ	F.L.4.0mm 透明	F.L.4.0mm 透明	F.L.4.0mm 型			
金	物						
備	考	※ガラスクリーニング	※ガラスクリーニング	※ガラスクリーニング			
記	号	AW-03	AW-04	AW-05			
装	図	※新設 既存枠・建具共撤去	※新設 既存枠・建具共撤去	※新設 既存枠・建具共撤去	※新設	※新設	※新設
							
部	屋	中校舎、北校舎各階男子女子便所	南校舎1階職員女子便所	南校舎1階職員男子便所	中校舎、北校舎各階男子女子便所	南校舎1階職員女子便所	南校舎1階職員男子便所
型	式	欄間付片抽 建具枠	欄間付片抽 建具枠 制作品	欄間付片抽 建具枠 制作品	AD-01用 建具本体 フラッシュドア	WW-01用 建具本体 フラッシュドア	WW-02用 建具本体 フラッシュドア
材	質	7&3製	木製	木製	木製 シナ合板 5.5mm 補強下地組	木製 シナ合板 5.5mm 補強下地組	木製 シナ合板 5.5mm 補強下地組
見	込	100	100	100	40	40	40
仕	上	シルバー色	木製 着色ウレタン 既存合わせ	木製 着色ウレタン 既存合わせ	O.S.L. 既存合わせ	O.S.L. 既存合わせ	O.S.L. 既存合わせ
ガ	ラ	F.L.4.0mm 型	F.L.4.0mm 型	F.L.4.0mm 型	なし	なし	なし
金	物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	SUS丁番 押板引棒 ドアチェック	ビスボルトヒンジ 押板引棒 ドアチェック	ビスボルトヒンジ 押板引棒 ドアチェック
備	考	※カバー工法による 改修内壁との見切縁施工含む			参考 押板引棒セット エボT1560SUS同等	参考 押板引棒セット エボT1560SUS同等	参考 押板引棒セット エボT1560SUS同等
記	号	AW-06	AW-05	AW-06	AW-01	AW-02	
装	図	※既存	※既存	※既存			
							
部	屋	中校舎各階水飲場	南校舎2階水飲場	北校舎各階水飲場			
型	式	4枚引戸 4本溝	4枚引戸 4本溝	4枚引戸 4本溝			
材	質	木製	木製	木製			
見	込	40	40	40			
仕	上	三方枠再塗装 着色ウレタン	三方枠再塗装 着色ウレタン	三方枠再塗装 着色ウレタン			
ガ	ラ	F.L.4.0mm 型	F.L.4.0mm 型	F.L.4.0mm 型			
金	物	引手金物 梃居大型ウステンレール	引手金物 梃居大型ウステンレール	引手金物 梃居大型ウステンレール			
備	考	※本体、ガラス、クリーニング	※本体、ガラス、クリーニング	※本体、ガラス、クリーニング			
記	号	AW-04	AW-05	AW-06			

※キープランは平面詳細図参照

トイレブース 平面図 S=1:50



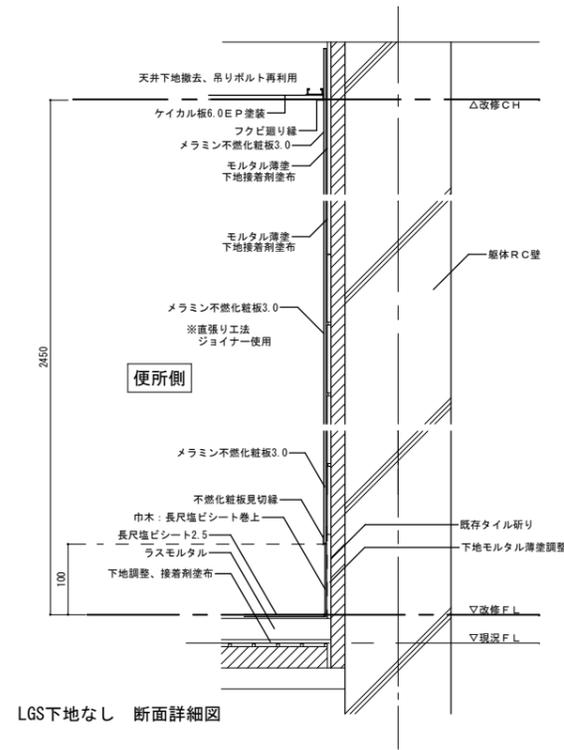
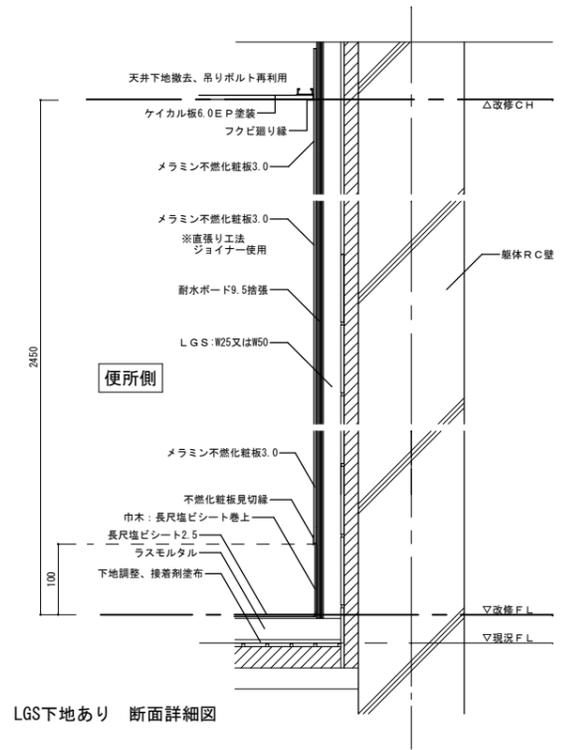
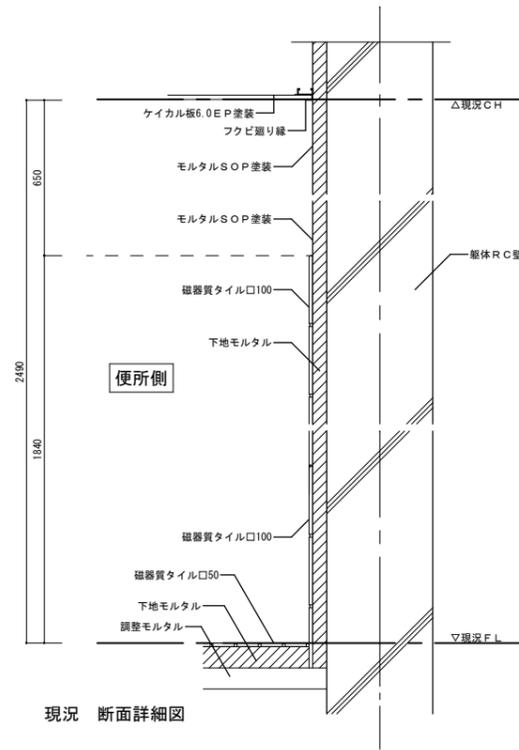
トイレブース 断面詳細図 S=1:5

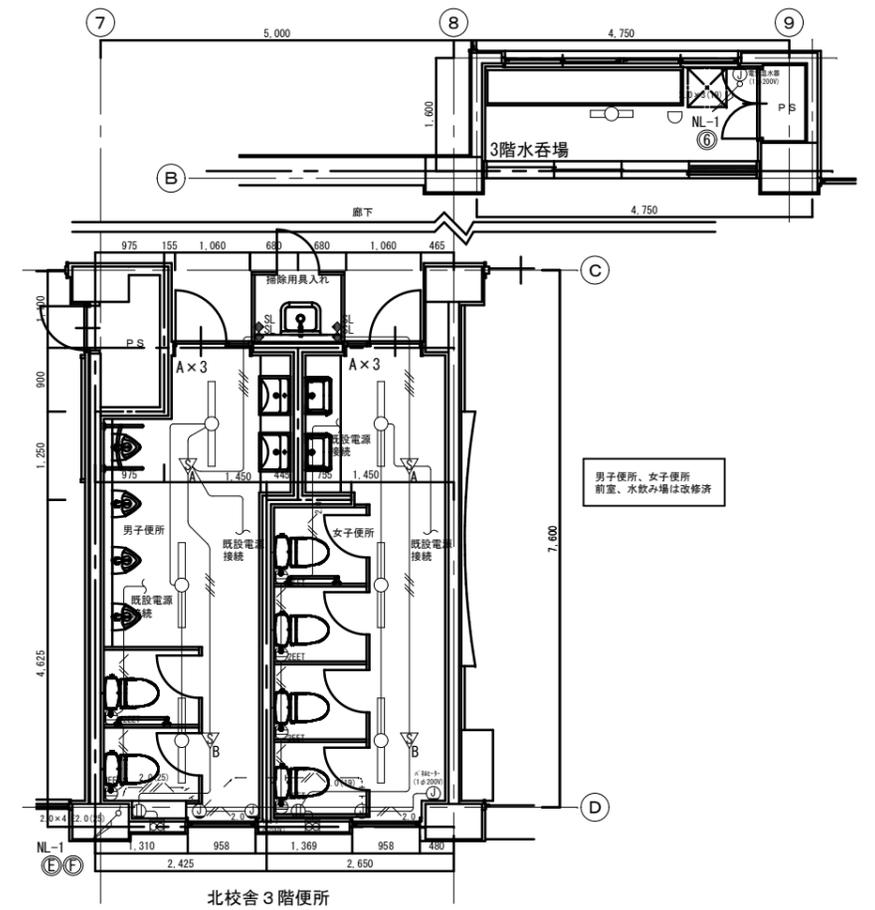
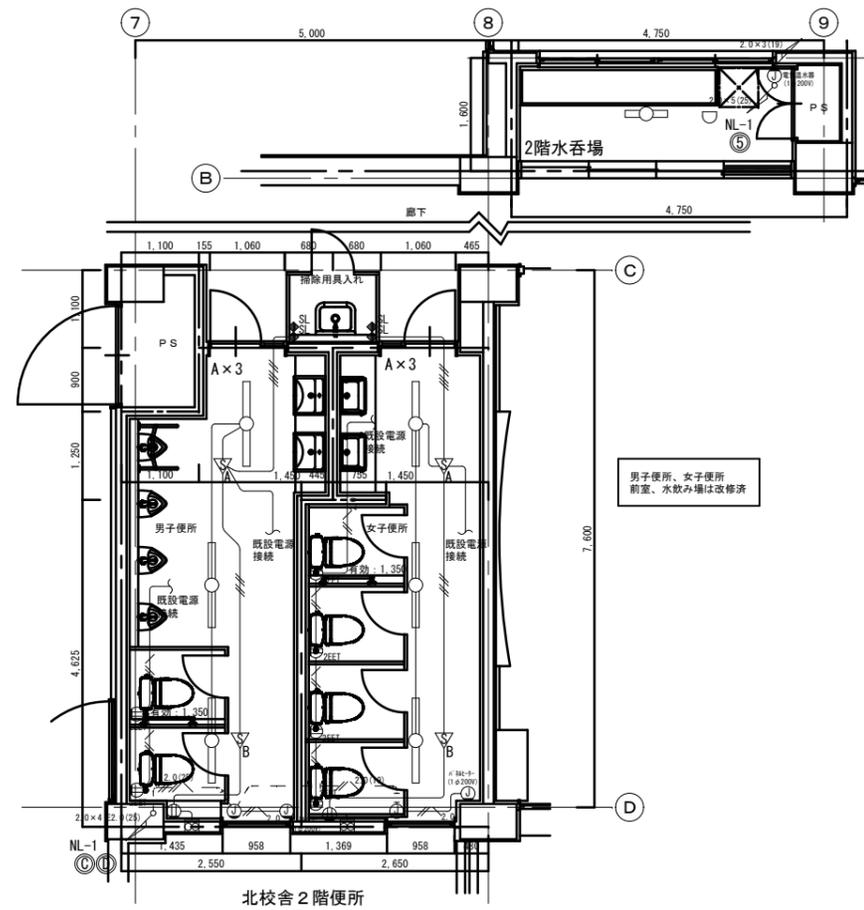
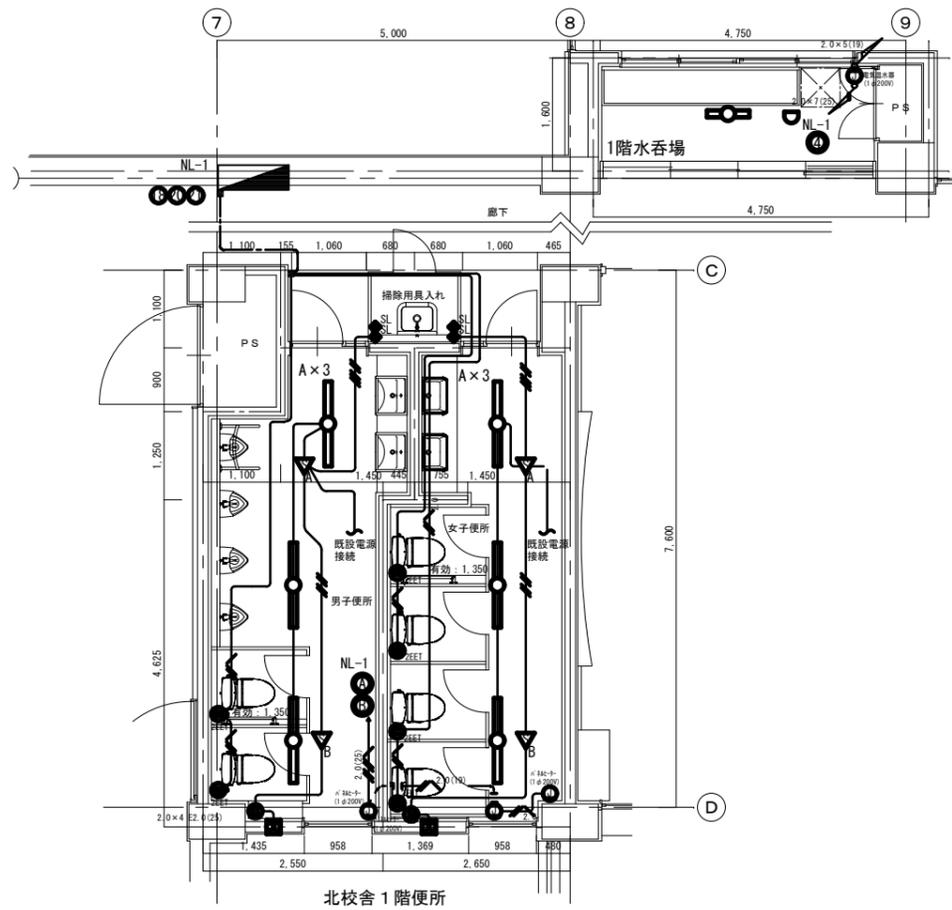


◇仕様表

項目	部材	材料 (板厚mm)
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF)
	芯材	ペーパーコア
	目板/戸当り	アルミ押出形材 (アルマイトクリア処理仕上)
付属品	市木/床レール	ステンレス 0.8mm (ヘアライン仕上)
	芯木	アルミ押出形材 (アルマイトクリア処理仕上)
	壁面レール / コーナーカバー	アルミ押出形材 (アルマイトクリア処理仕上)
	ヒンジ / SKヒンジ	中心吊グレティヒンジ / 中心吊ヒンジ
	ロック	スライドロックSK
	その他金物	戸当り帽子掛けSK / 引手SK

記 室 号 名	① TB 北校舎1階 男子便所 S=1/5	② TB 北校舎1階 女子便所 S=1/5
形 状 寸 法		
名 称	トイレブース	トイレブース
見 込	40mm	40mm
仕 上	アルミR枠 メラミン化粧板 (芯材:ペーパーコア)	アルミR枠 メラミン化粧板 (芯材:ペーパーコア)
ガ ラ ス	付属金物一式、SUS巾木、中心吊りグレビティヒンジ、戸当り、笠木金物、笠木塞ぎ	付属金物一式、SUS巾木、中心吊りグレビティヒンジ、戸当り、笠木金物、笠木塞ぎ
金 物	付属金物一式、SUS巾木、中心吊りグレビティヒンジ、戸当り、笠木金物、笠木塞ぎ	付属金物一式、SUS巾木、中心吊りグレビティヒンジ、戸当り、笠木金物、笠木塞ぎ
備 考	※裏打ちパーティクルボード厚9mm	※裏打ちパーティクルボード厚9mm
記 室 号 名	⑤ TB 北校舎1階 廊下 S=1/5	
形 状 寸 法		<p>Ⓐ : 手摺下地補強 Ⓑ : 荷掛フック用壁下地補強 取付位置監督員協議にて決定</p>
名 称	掃除用具入れ	
見 込	40mm	
仕 上	アルミR枠 メラミン化粧板 (芯材:ペーパーコア)	
ガ ラ ス	付属金物一式、SUS巾木、中心吊りヒンジ、笠木金物、笠木塞ぎ	
金 物	付属金物一式、SUS巾木、中心吊りヒンジ、笠木金物、笠木塞ぎ	
備 考	※裏打ちパーティクルボード厚9mm	
記 室 号 名		
形 状 寸 法		
名 称		
見 込		
仕 上		
ガ ラ ス		
金 物		
備 考		





照明器具姿図

A	LSS9-4-23 直付型 40形
	iDシリーズ直付型40形Dスタイル W150
	<p>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>iDシリーズ直付型40形Dスタイル W150 パナソニック 直付XLX420AENPLE9 参考型番</p>

凡例	※ 特記なき配管・配線は下記による。	
電灯・コンセント設備	埋込スイッチ 1P15A 3:3路 4:4路 L・N (0.1mタイプ)	EM-EFF 1.6-2C 天井内隠ぺい配線
	3WP:3路防水 AS:自動点滅器100V 3A 4線式	EM-EFF 1.6-3C 天井内隠ぺい配線
	埋込スイッチ 1P15A + コネクト 2P15A×2 接地極付 (同一4・7.5m以内)に収める)	EM-EFF 1.6-3C (7-2) 天井内隠ぺい配線
		EM-EFF 1.6-2C×2 天井内隠ぺい配線
	熱線センサー付自動スイッチ操作ユニット 照明・換気扇 2回路用	EM-EFF 1.6-2C+3C 天井内隠ぺい配線
	熱線センサー付自動スイッチ 観音 8 A	EM-EFF 2.0-2C 天井内隠ぺい配線
	熱線センサー付自動スイッチ子機 換気扇接続端子付	EM-EFF 2.0-3C (7-2) 天井内隠ぺい配線
	熱線センサー付自動スイッチ 照明・換気扇自動制御型	IV 2.0 既設 床配線
	換気扇 機械設備工事	
	埋込コンセント 2P15A×1	
	埋込コンセント 2P15A×2 接地極付	
	埋込コンセント 2P15A×2 接地極接地端子付	
	加へプレート ボックス内にて電源接続 (既設NL-1回路)	
電気温水器 (1.6/2.0V)	バス用プレート 電源直接接続 (電気温水器)	
バス用プレート (1.6/2.0V)	バス用プレート 電源直接接続 (バス用プレート)	

※分電盤改修指示事項 既設電灯盤 (NL-1)		
番号	負荷名称	
Ⓐ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓑ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓒ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓓ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓔ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓕ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
④	電気温水器	100V から 200V へ電圧切替
⑤	電気温水器	100V から 200V へ電圧切替
⑥	電気温水器	100V から 200V へ電圧切替
⑱	ウォシュレット	100V 回路増設
⑳	ウォシュレット	100V 回路増設
㉑	ウォシュレット	100V 回路増設

機械設備工事

I. 工事概要

1. 工事場所	安曇野市堀金高島川2126							
2. 建物概要	建物名称	工事種別	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法施行令別表第一	耐震分類	備考
	堀金中学校	改修	RC	3F	7,655.14(㎡)	(7)項	-	

3. 工事種目(●印を付けたものを適用する)	工事種目	建物別	工	事	内	容	屋	外
	○空気調和設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○冷暖房設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○暖房設備	●一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○換気設備	●一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○排煙設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○自動制御設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○衛生器具設備	●一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○給水設備	●一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○排水設備	●一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○給湯設備	●一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○消火設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○ガス設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○給油設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○厨房機器設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○実験装置器具設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一
	○浄化槽設備	○一	○一	○一	○一	○一	○一	○一

4. 設備概要(○印を付けたものを適用する)	方法及び種別	設	備	概	要
	空調方式				
	冷暖房方式				
	暖房方式	・温風暖房	・温水暖房	・FF暖房	
	換気方式	・局所換気			
	給水方式	・水道直結式	・加圧式	●高圧タンク式(●上水・井水)	
	排水方式	・建物内汚水・雑排水(●分流・合流)			
		・建物外汚水・雑排水(・分流 ●合流)			
		・浄化槽(・合併・単独)			
		・放流先	●公共下水		
	消火設備の種類	・屋内消火栓設備	・消火器		
	ガスの種別	・都市ガス(発熱量 KJ/Nm ³ 供給事業者名:)			
		・液化石油ガス(発熱量 100,000 KJ/Nm ³)			

5. 指定部分・無
対象部分:
・有(指定部分しゅん工期限 平成 年 月 日)

II. 図面目録

No.	図面名称	No.	図面名称
図-01	特記仕様書		
図-02	機器器具表		
図-03	系統図		
図-04	1階改修平面図		
図-05	2階改修平面図		
図-06	3階改修平面図		
図-07	便所、水呑み場給排水配管図		
図-08	暖房、換気設備図		
図-09	外部・1階全体図(既設)		
図-10	2階全体図(既設)		
図-11	3階全体図(既設)		
図-12	北校舎給排水設備平面図(既設)		
図-13	北校舎暖房、換気設備図(既設)		

III. 工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準図」という。)による。
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。
参考図書
●安曇野市建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)安曇野市企画財政部監修
2. 特記仕様
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、●印の付いたものは適用しない。

章	項目	特	記	事	項
1	機材等				本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
2	機材の品質・性能証明				使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明(以下、「品質性能証明資料」という。)を提出して監督職員の承諾を受ける。(標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2)ただし、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能保証書(設備機材等保証書名簿)」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製作図、試験成績書等は除く。
3	使用材料発注先調査				使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調査を作成し、監督職員の承諾を受ける。
4	施工条件明示項目				・公共建築工事標準基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」

5 化学物質を発生する建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
2) 保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はフタル酸ジエーテル樹脂及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
5) 上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものをい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該当する建築材料
規制対象外	①JIS及びJASO F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド高接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド高接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散しない材料使用 e 非ホルムアルデヒド高接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 f 非ホルムアルデヒド高接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
第3種	①JIS及びJASO F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE0規格品 ④旧JASのF0規格品

6 ベーストシール剤
飲料水水系に使用されているベーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラデカリン、クロロピリオス、フェノールカルブ、ダイアジノン、フタル酸ジエーテル樹脂、フタル酸ジエーテルヘキシル
電気保安技術者を設置する。
●配管(1. 2) ・冷凍空調機器(1. 2) ●熱絶縁(1. 2) ・建築安全(1. 2)
●設けない・設ける
この工事に必要な工事用電力、用水、手続手続きなどの費用は請負者の負担とする。
●契約の關係請負者が定めたものは無償で使用できる。 ・本工事で負担する。
・改修機械設備標準仕様書第1編2.2.1)によるほか下記による。
・内部設置足場等(・種・種) ・外部設置足場等(・種・種)

12 資材の保管
資材の保管は必ず基礎をかけ地上30cm以上の架台に乗せる。
・監督員が指示する構内の場所に敷ならし。 ・構内指定場所にたい積 ・構外搬出適切処理
14 埋め戻し土・盛土
・根切中の良質土(ただし管の周囲は山砂、川砂又は雑生土) ・山砂の積
根切中の山留め・有() ・無
16 養生材処理
工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画を監督職員に提出し、しゅん工期には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。
(1) 引渡しを要するもの ●無 ・有()
(2) 引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。
(3) 特別管理産業廃棄物 ●無 ・有()
(4) 再利用又は再生資源化を図るもの (2)が1-7、7A77が1、木くず、金属くず、塩ビ管、)
標準仕様書第1編1. 7. 4)によるほか、パルプ類等には必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線等で取付ける。

17 文字入名札等
18 取扱説明板
機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板(アクリル樹脂製、文字形込み程度)を設ける。大きさは、約 ㎝×㎝とする。
19 総合調整
・風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温湿度測定 ・騒音測定
・飲料水の品質の測定(・水質基準検査10項目(一般細菌、大腸菌、硫酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物付、有機物等(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度) ・トルエン)
飲料水の品質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。
20 容量等の表示
(1) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすけ付け、取付又は支持を行う。
耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所監修)による。
(1) 設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水櫃その他の貯槽にあっては有効重量)に、次に示す地震係数及び設計用標準水平地震を乗じたものとする。地震係数は1.0とする。

設置場所	耐震安全性の分類			
	・特定の施設(甲類・乙類)	重要機器	一般機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (1.5)	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	0.6 (0.6)
地下階、一階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注) 1. ()内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
2. ()内の数値は水櫃類に適用する。
3. 上層階の定義は次による。
2～6階建以下の場合是最上階、7～9階建の場合は上層2階
重要機器とは下記に示すものをいう。
・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置
・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器
(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
機械改修工事標準仕様書第2編9章による。

22 あと施工アンカー確認試験	・性能確認試験() ・施工後確認試験()
23 吊金物	吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする。
24 配管勾配	給水、給湯、消火、冷温水管、冷却水管は、図面による水抜きが確実にできるように水抜き位置に向かって下り勾配とする。
25 管の保護	コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重ね1回巻くとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼管等により直下防止措置をする。
26 管の埋設	土中埋設管(排水含む)は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。 給水管、消火管の埋設深さは ㎝とする。又、ガス管の埋設深さは ㎝とする。

27 管の埋設表示
図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分は埋設標柱とする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。
28 溶接部の非破壊検査
29 壁塗装
図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分は埋設標柱とする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。
30 機器の基礎及び振動絶縁効率
31 電線類
32 保つり
33 保護及び消音内貼り

機	基	振	
送心送風機	・標準基礎	・防振基礎	・%以上
空調用ポンプ及びボイラー給水ポンプ	・標準基礎	・防振基礎	・80%以上
給水用ポンプ及び小形給水ポンプユニット	・標準基礎	・防振基礎	・80%以上

34 防凍保温
35 試験
36 他工事との取合い
37 その他

区分	保	温	外	装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス			
機械室	・アルミガラスクロス			
居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板			
屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板			

区分	保	温	外	装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス			
機械室	・アルミガラスクロス			
居室・廊下など	・織布			
屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板			

※配管には、冷媒管は除く。
・冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化ケースは強化ビニール樹脂製とする。

区分	保	温	外	装
屋内露出	・織布			・保温化紐ケース
屋外露出	・ステンレス鋼板			・保温化紐ケース

34 防凍保温
・屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類)は防凍保温を行い、厚さは管径25mm以下のものは50mm、管径32mm以上のものは40mmとする。
・屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類)は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は32に準じる。
・各種機器については図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。()
(1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。
(2) 新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。
配管、ダクト、器具類は付けたともなうスリーブ、挿入は本工事とし、他は工事区分による。保護等の各種措置については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。
(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)

区分	屋						内							
	外		気		一般系統		湿度(DB)		湿度(RH)		湿度(DB)		湿度(RH)	
夏季	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度
冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%

測定	名	A	特	N	C
性	性	性	性	性	性

3 煤煙濃度計
4 ばいじん量測定口
5 煙道ダクト
7 風量測定口
8 チャンバー
9 防煙ダンパー

10 ビストンダンパー
11 弁類
12 温度計
13 圧力計
14 瞬間流量計
15 油面制御装置

●換気設備
1 ダクト
2 風量測定口
3 ダンパー
4 排気ダクトのシール
5 チャンバー
6 耐火措置

○排煙設備
1 ダクト
2 排煙口の形式
3 排煙口手動開放装置(開放及び復帰方式)
4 排煙風量測定

○自動制御設備
1 中央監視制御装置
2 中央監視制御装置の構成・機能
3 電気計装工事の記録

●衛生器具設備
1 大便器洗浄弁
2 大便器ロタンク
3 温水洗浄便座
4 小便器洗浄弁
5 小便器洗浄器
6 水栓
7 化粧鏡
8 石けん受
9 洗面器
10 鏡
11 大便器耐火カバー

●給排水設備
1 量水器
2 量水器類
3 弁類
4 引込納付金等
5 給水勾配
6 建物導入配管

●排気設備
1 洗面器等の排水管
2 排水勾配
3 排水試験継手
4 ｼﾝｸﾞﾙ、ため樹

●給湯設備
1 弁類
○消火設備
1 屋内消火栓箱
2 建物導入部配管

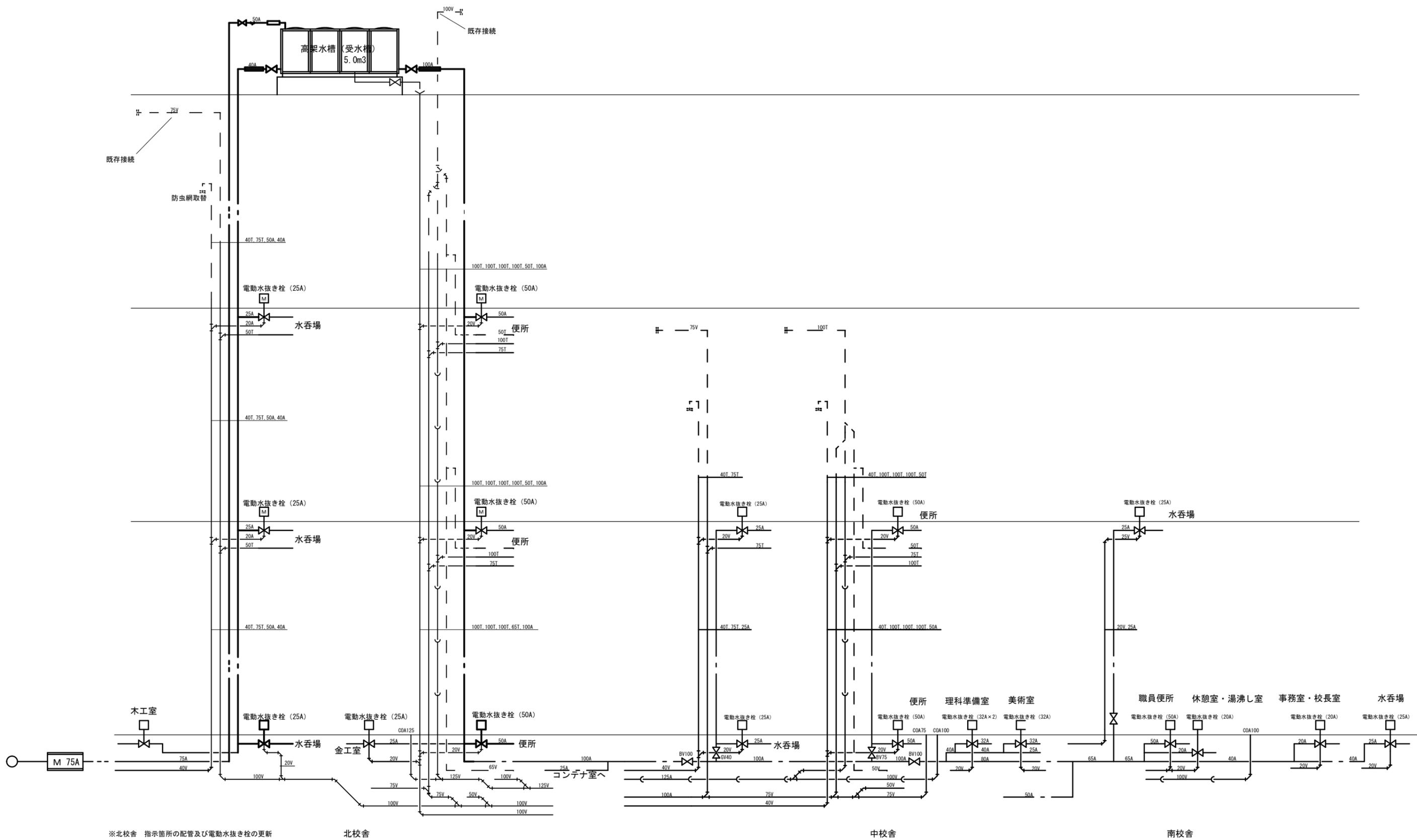
●ガス設備
1 充てん容器
2 集合装置
3 転倒防止等
4 メーター
5 ガス漏れ警報器
6 引込負担金
7 電気防食
8 建物導入部配管

○その他
1 しゅん工期提出物
2 定期報告
3 電子納品

- 提出書類等目録
●完成図(原因・製本・マイクロフィルム・CADデータ)
●設計図(原因・マイクロフィルム)
●工事施工関係書類
●工事完成資料
●保守管理資料
- 官公署届出書類等
●工具・予備品等
●引渡書
●試験運用書等()の納品書等
●その他監督員指示によるもの又は特記によるもの
- (別表) しゅん工期提出物(○印を付けたものを提出する。作成方法は手引きによる。)
注)完成図面の種類は、設計図面に準じて作成すること。

機器器具表

		Ⅲ期工事												小計	合計	
		北校舎														
		1階		2階		3階		4階		5階		6階				
名称		記号(参考)		男子用所	女子用所	廊下	水台場									
衛生器具	洋風便器	CFS498BCK TCF5534 (洗浄便座) YH650 (紙巻器)		2	4										6	6
	小便器(低リップ型)	UFH500 TG600PL		4											4	4
	人造大理石カウンター(ボール一体型)	ML50C1910CPA13W L505 TLC11AR TLDS2105J TLC4BF MFT3C1894DINB12W (70th' 扉扉式)		1											1	1
	人造大理石カウンター(ボール一体型)	MLUAC1900CPA13W LS351C TLC11AR TLDS2105J TLC4BF MFT3C1894DINB12W (70th' 扉扉式)		1											1	1
	掃除流し	SK22A TK22 T23AEQF20C TN114 T9R T37PGEP				1									1	1
	シングルレバー混合水栓	THTKGG301Z TH5CO212					5								5	5
	電気温水器(150L)	SRG-151G GT-D150D RMC-9					1								1	1
	小便器用手すり	T112CU22 T110D15		1											1	1
	化粧鏡	YM4560A (450×600H)		2	2										4	4
	手すり	TS136GLY86		1	1										2	2
暖房機器	パネルヒーター	1φ200V×1.5KW 壁掛け型 いたずら防止装置取付		1	1									2	2	
換気機器	EF-1 壁換気扇	排気専用 羽根径: 25cm 400m3/h 電動シャッター ウェザカバー (木枠: 既設使用)		1	1									2	2	



※北校舎 指示箇所の配管及び電動水抜き栓の更新

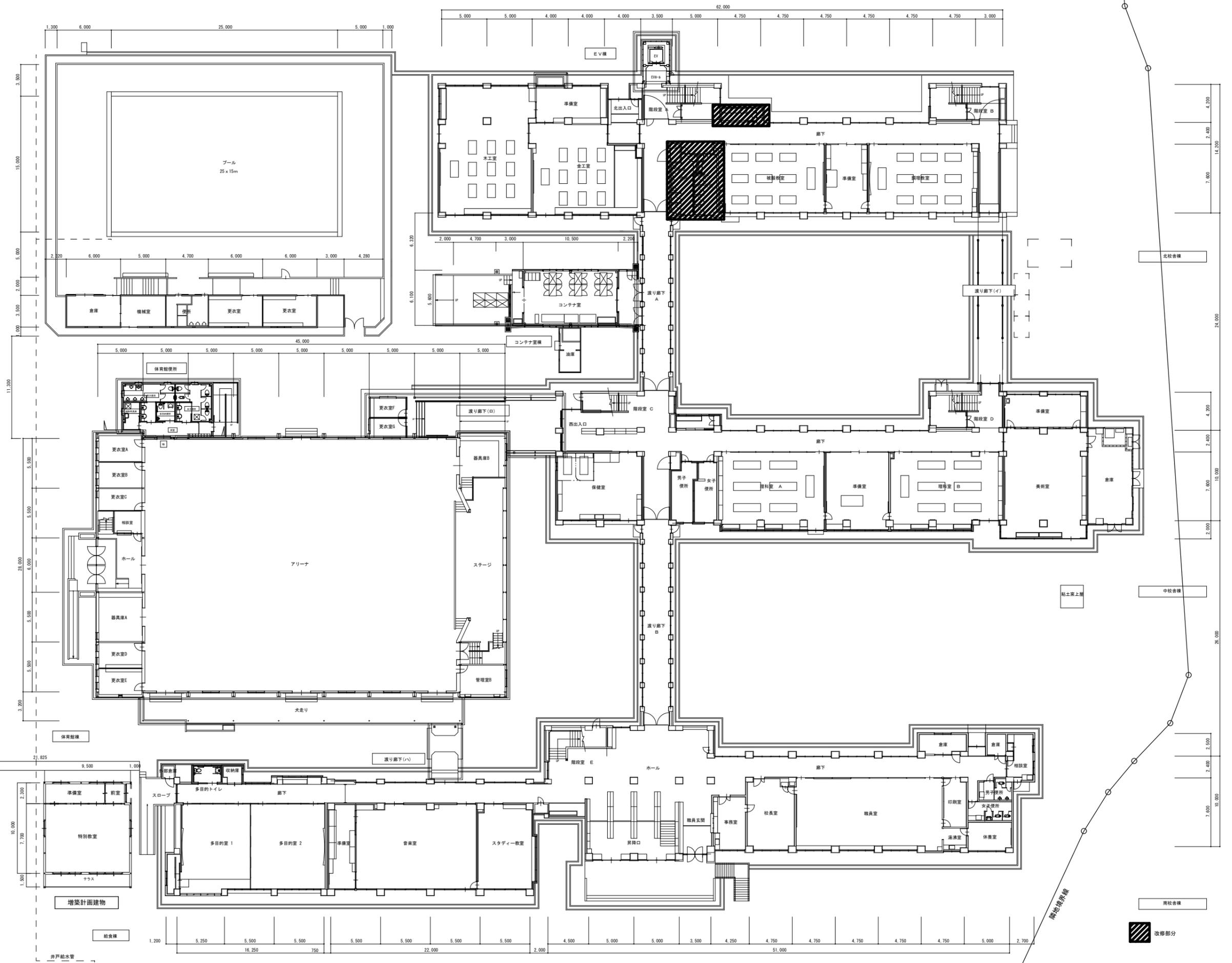
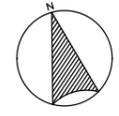
北校舎

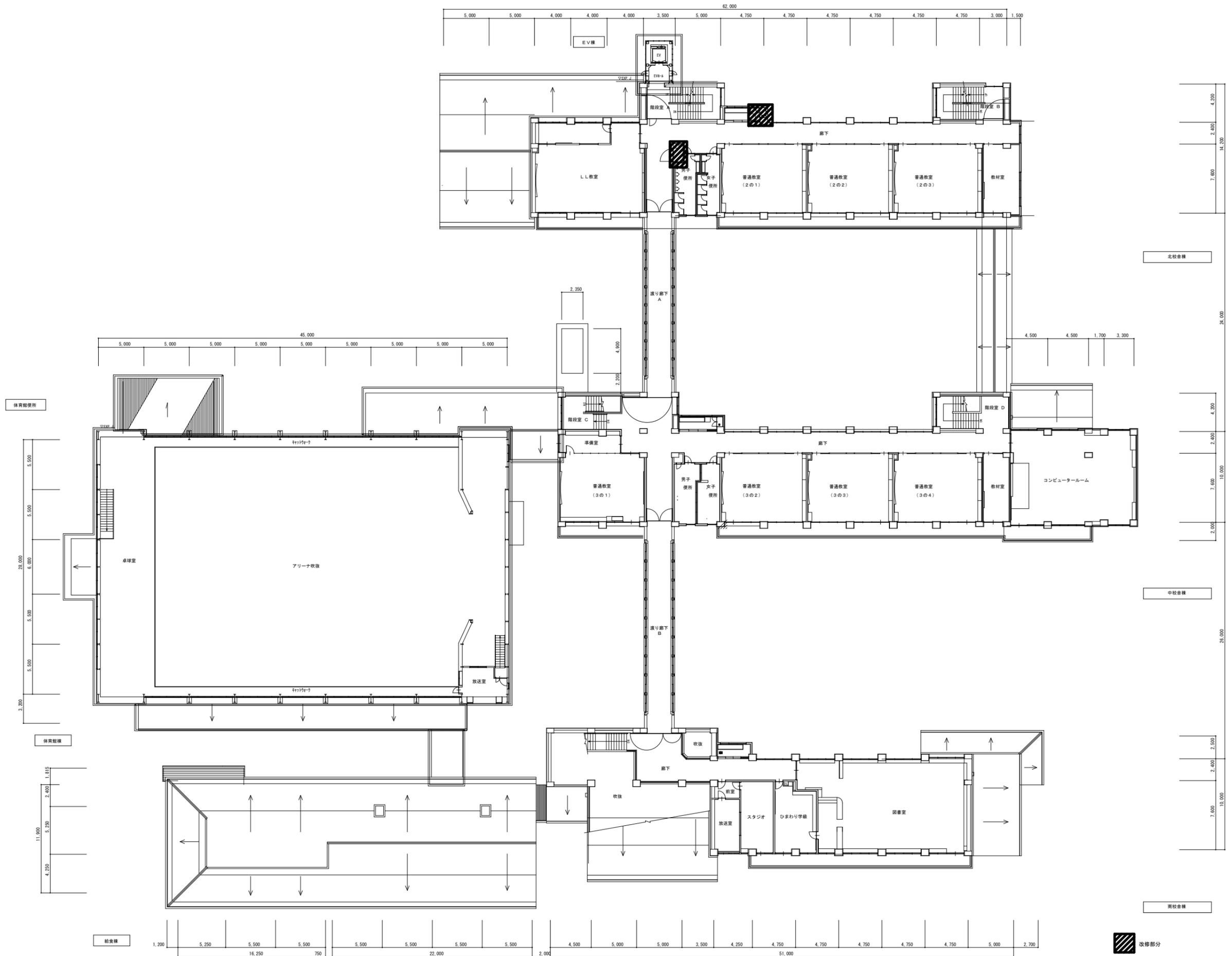
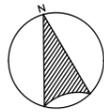
中校舎

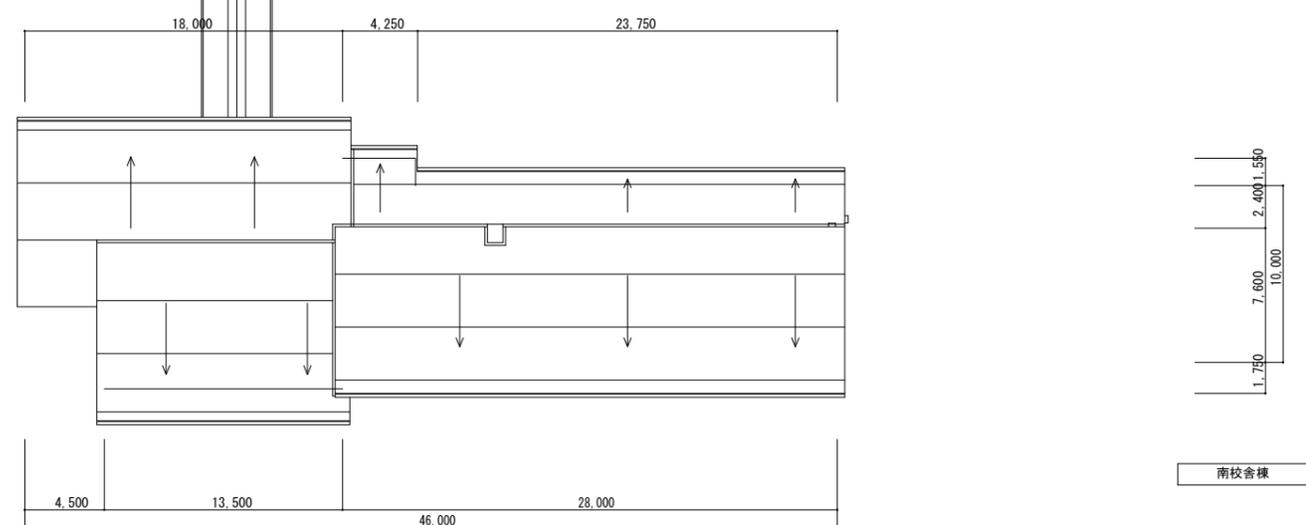
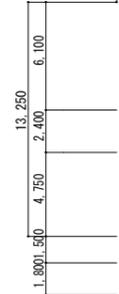
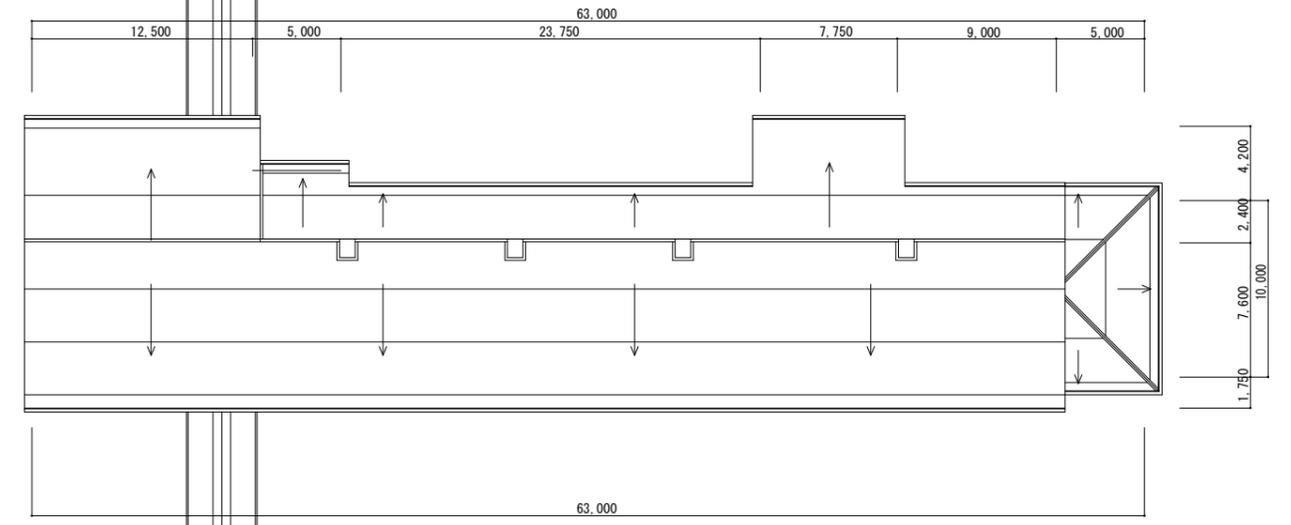
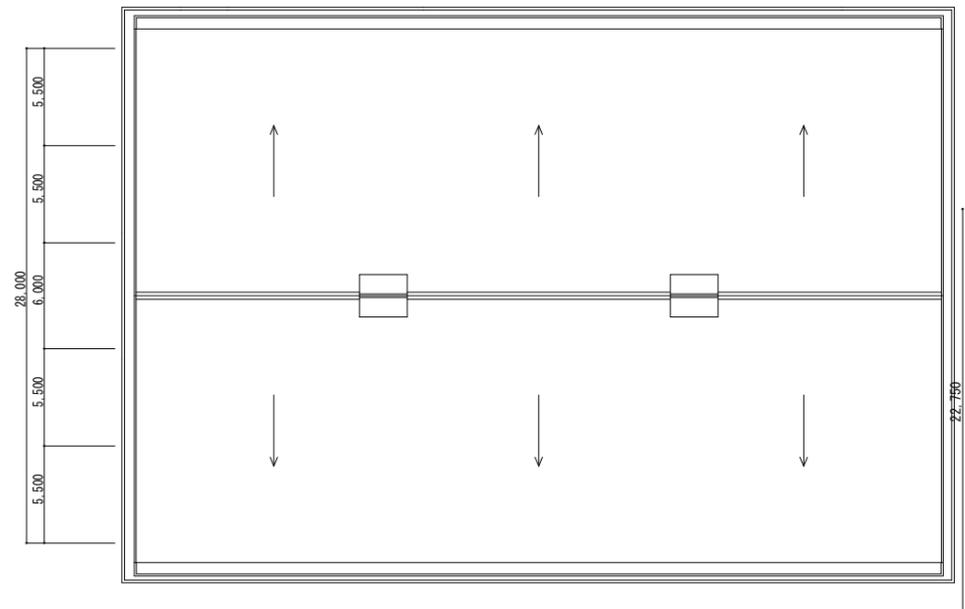
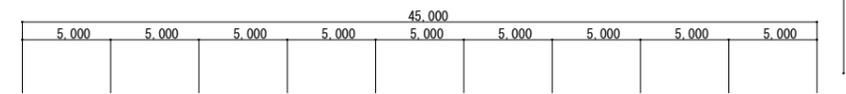
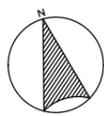
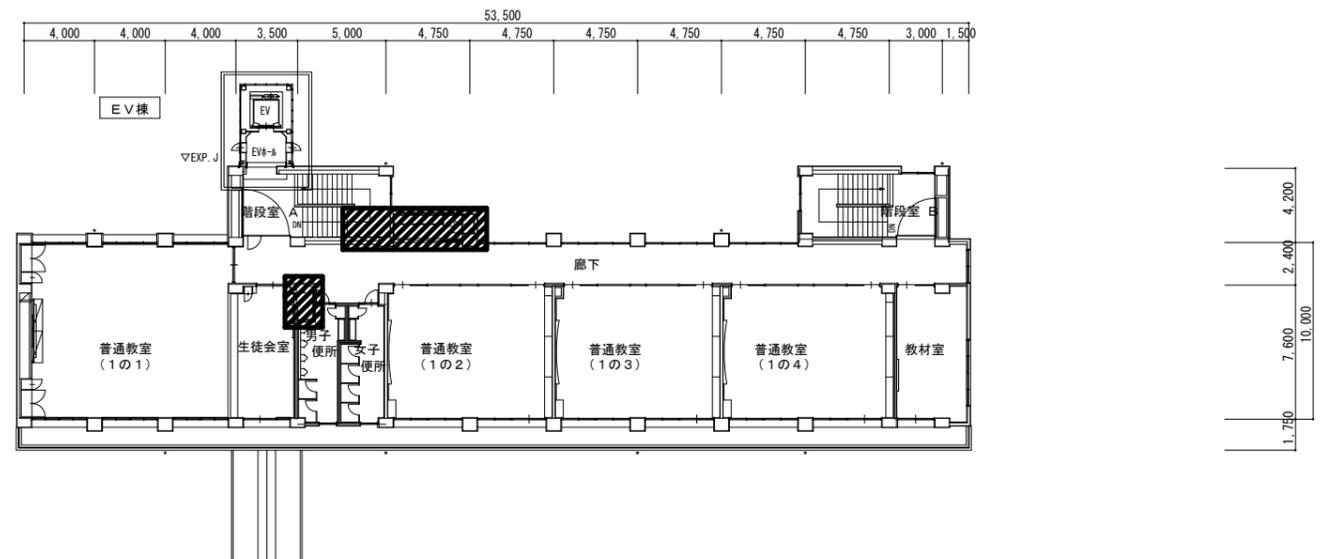
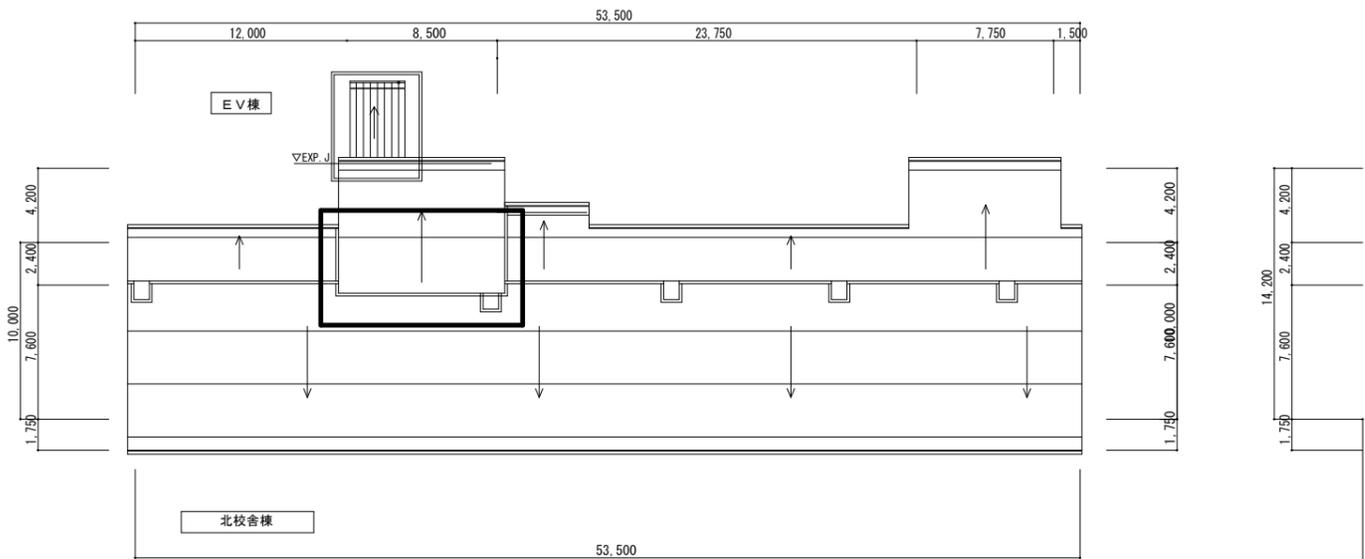
南校舎

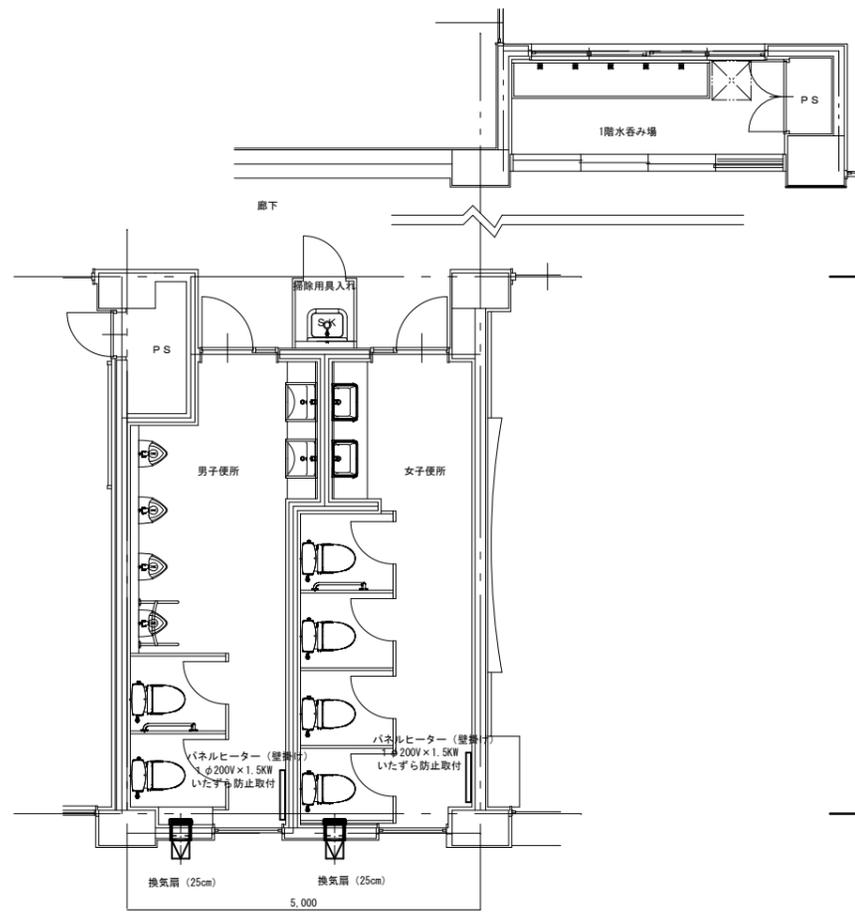
 安曇野市	担当	工事名称 令和5年度(明許繰越) 堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)	図面名称 給排水系統図 改修	NO. M-03

道路境界線

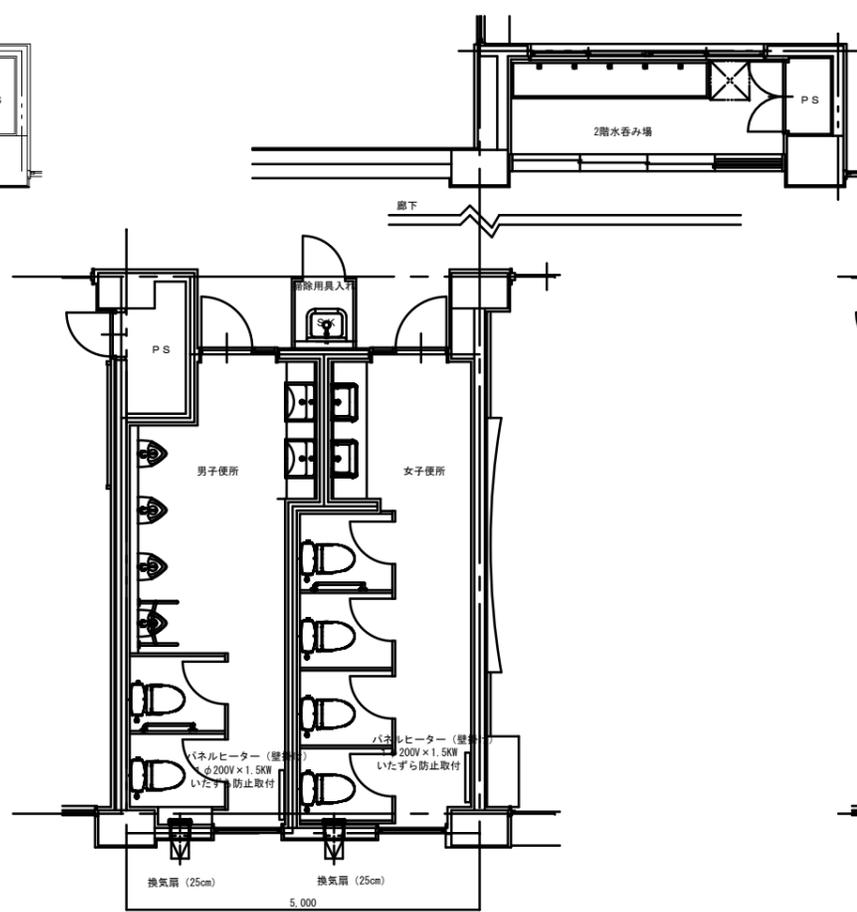




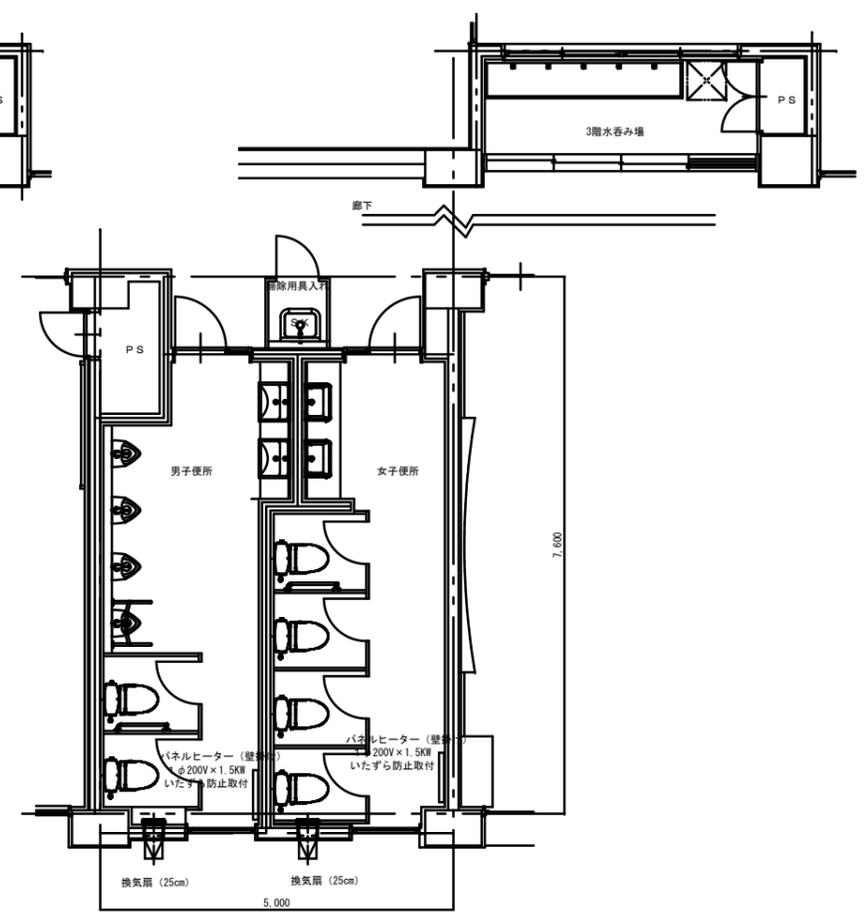




北校舎1階便所



北校舎2階便所



北校舎3階便所

